**おれくさかしんはたのすべてをこの書に込める。**

**現在の世界は**

**この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。**

**この本を書いたのは、望まず苦しんでいる人がいて、それはあってはならない事だからです。世界を少しでもいい方向に向かうように、この本を書きました。**

**まず、一人で目的に挑めば行けるところは限られる。**

**１００人の組織で目的に挑めば行けるところは協力できれば一人の時よりはるかに遠くに行ける**

**全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。**

**全人類の目的は個人の目的を達成することではない、私たちはたとえ自分だけの目的を達成したとしてもいいとは思わない、全員が目的を達成できないと意味がないと思う。**

**個人の目的達成を目指すのならば、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが**

**難しい個人の目的は全体で個人の目的をかなえる、また全体の目的も全体で叶えるという考えが一番個人の目的も全体の目的も達成できる。**

**また、情報を個人が独占することはなく、目的が全員の目的を達成することならば、全員が協力でき、情報も誰一人独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。**

**みんなで情報をすべて出し協力できれば、すごく早く目的が**

**まず私は今理想どうりに出来ない。そして、理想どうりにできない**

**目的をひたすらに追うのではなく、理想どうりに出来ていない、目的より今困っている人を一人でも救う、**

**理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。**

**やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。**

**目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せであることが大切だと思います。**

**それが現状の一番いいアイデアだ。私たちは、構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、最高のものを作れるはずである。**

**そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。**

**同じものが作れる、それ以上のものが作れる、**

**人間はまだ見ぬ個人個人それぞれの最高の目的を必ず達成できる♡**

**目次**

**題名をまとめる**

**まとめの結論を１００００文字で記述する**

**それに基づいた３００００文字で分かりやすく解説**

**具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字**

**最後にあらためて世界に問いかける１０００文字**

**合計４００００文字以上を最短で達成する。**

**一日でやることはこの本を書くことだけ。**

**本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。**

**結論から始めるんだビビるな臆するな**

**お前は無敵だ最強だ。**

**まだある。**

**この本を出版する、まずこの本を、モチベーションメンタル？関係ねえ今日燃え尽きていい。今日できれば死んでもいい。**

**あ、今日も一文字書けたね、**

**知識は集めたよ、時間と存在は同じ**

**人間は環境から情報統合つまりは運動発動によって環境に影響を与える、環境から影響を受けて、環境に影響を与える互換関係にある、**

**あえて頑張りたいのに頑張らない、ぐらいになる、それは体がもっと欲する場所が存在するからだ。**

**情報を集まった、考えるとは既存知識範囲内の情報、立案、検証することと、既存知識外の情報で立案、検証することの2種類があり、２の立案にいはひらめきなど言語範囲外の要素がある、２は言語が存在したうえで可能な範囲の部分があり、言語によって人間の思考は高度化されてきたことは間違いない、光があるんだきっとすごいよすごいよ、もう１０分だよ興奮するね５分考えるだけでいいのに１０分も考えたよすごいよすごいよすごいよすごいよ。**

**一は生物にもともと存在する、他の生物にも存在するニューロンと＝関係にある、美しいものと、言語を作成するという表現、言語はイメージ言語外概念を受容し、認識し、情報を統合することで運動発動、イメージ発動**

**ならばニューロンいやDNA＝時間と存在＝一なるすべて零POINTの表現である。それは美しい表現を持つ、それは美しくありたいのだ、世界の表現、意志は初めから存在した。生まれたい魂が作動。守るよ、初めからすべてありはした。生れたい**

**私の原点ン位存在有無より本体にふさわしい本体があるのだが、その本体は今につながっており、現実に帰着するわけではない、今に帰着するのだ、今とはイデアの反映でありまそれは今。私の有効打は数の始まり。**

**感謝しかないのさ、そうさ始めよう。**

**この世界を変える方程式かいいね。昨日は苦しい夢をみたよ、でも大丈夫さ、俺は日下真旗だからよ、大丈夫前を向け私ならばきっとできるはずだよ、**

**今すぐに世界を救うよ何が出来るかな、みんなの目的は私が作り出すよ、大丈夫安心しな。**

**最高の世界に塗り替えるよ、どうするかな、意志が変数である、頼むよ、現実はげんじつである、脳の及ぶところではない。そのままでいい、個を出してはならない、個をいじれば、それが苦しみを生む、競争の根底は何だ、それは個の影響だ、それが競争を生む、ならば仏教は本来は正しいが、個を超越したところ、個は子であるからはなれ、割と元来の繁栄に御影。。**

**今と決まっている終点は決定しているしかし、それは満足に値しないのであろう、それは本体は今知る。。ならばして私は最高の世界を創造する、**

**ならばざる負えないほどの限界点を派生してこの概念けいえんすういい日下真旗。。。**

**橋皿エバ、創造と、元来物理を超える意思があり、意志を超えるいま。。**

**今を分解して、再構成する、物質、動かせる、意志動かせる、最高の世界動かせる。しいなましろ。すべて使え自由だ、意志いいよ。**

**この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。**

**本書で伝えたいこと、**

**世界共通の目的を決めよう**

**正しい倫理とは**

**善悪とは**

**宇宙の本当の姿とは**

**悟りとは**

**神は存在するのか**

**精神病について**

**幅広い情報**

**まとめ**

**1人で目的に挑めば行けるところは限られる。**

**１００人で目的に協力して挑めば行けるところは1人の時よりはるかに遠くに行ける**

**全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。**

**全人類の目的は1個人の目的を達成することだけではないでしょう、1人が自分だけ望む目的を達成した場合、1人以外の沢山の人は、後で説明しますが、それぞれの目的を達成できない場合や、苦しく思うことが増えることが考えられる、今の世界を見れば沢山の国それぞれに別の目的がある為、国同士は1つにまとまらず、国同士が支配し合う様になっているのではないだろうか、それについて説明したい。**

**個人の目的達成を目指す際、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが**

**難しい個人の目的は全体で個人の目的を達成する。全体の目的は全体で叶えるのが一番個人の目的も全体の目的も達成できると考えられる。**

**情報を個人が独占せず、全員で全員の目的を達成するのなら、全員が協力でき、1人が情報を独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。**

**全員が情報を隠すことなくすべて出して協力できれば、共通の目的の達成確率は高まる。**

**今、私は、理想どうりに出来ない、理想どうりに出来ないのであれば、目的達成を目指すより今困っている人を救うほうがよいと考えられる。**

**理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。**

**やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。**

**目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せであることが大切だと思います。**

**それが現状の一番いいアイデアだ。私たちは、構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、最高のものを作れるはずである。**

**そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。**

**同じものが作れる、それ以上のものが作れる、**

**人間は、今だに存在しない、人それぞれの最高の目的を必ず達成できる**

**世界共通の目的を決めよう**

**世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられます、具体的に最終目的を、人類という枠組みで言えば、人類全員の目的を達成するといったような全員のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全員の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要があるでしょう、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあります、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。**

**今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれています、全体の共通の目的が明確ではないのが理由の1つと考えられます。**

**共通の目的を決めない場合、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。**

**共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。**

**宇宙の本質、真理**

**宇宙の本質、真理についてですが、結論では私の考えでは、ヒューエベレットの多元宇宙論同様の理論になりました、**

**例えば無限に広がるものがあるとした場合、宇宙の構造は無限に広がっている、しかし中心にも無限に広がっている、無限の可能性を考える場合、無限であるからまだ拡大を続けている、また現実が有である現実に時間や死といったような有限のものがある、宇宙が無限である場合も有限とは矛盾はしない、それは無限と有限は共存できるからだ、無限の中には有限は共存できる為に矛盾はしない、現実が有限である理由もある意味そのようなことが理由だとされる、有限の物、リンゴの数があるように、現実に死があるようにある意味現実には有限が見られるためだ。**

**正しい倫理とは**

**世界を見ると倫理を確立できていないもしくは改善の余地があると思われる、倫理とは非常に重要で、正しい倫理観を伴わなければ、倫理観を適切にするかどうかで今後苦しむ人が増えるか減るかが分かれる、国家の中でも不満が蔓延し、そのような国家は国内でも何らかの争いがおこると思われる。**

**正しい倫理とは、本質的には個人個人により異なると考えられる、しかし共通の倫理観を持つことが必要なのは、倫理観が異なる者同士の間には、倫理観の違いからの対立や争いが起こる恐れがあり、完璧な共通する倫理を言語にすることは出来ないだろう、しかしある程度の倫理観を製作する必要はあると思われる、具体的に、**

**私の考える正しい倫理とは痛みと、目的を達成しようとすることを妨害すること、は良くないとされる、痛みがいけない理由は、痛みを感じたことのある人ならわかると思うが、人の感じる痛みとは壮絶で耐え難い感じるべきではない感覚だと思われる、痛みを他人に与えたとしても神に罰せられることはないだろうが、個人個人が痛みを与えることがどれだけ良くないことかを理解し、個人が妥協することなく守る必要がある。**

**法律は有効的な手段であるとは思う、**

**私にできることは考えることであり、考えることだけが人類全体に対して何らかの利益を生み出せる可能性があると思ったからだ、だから文字を書き続けるし、いい未来があると信じている、**

**善悪の本質とは**

**いい人間と悪い人間は単に知能の差ではないだろうか**

**いい人間と悪い人間がいるとされているが、良い人間とは単に知能レベルが高いだけではないだろうか、他の生物を見ればわかりやすいが、良い生物が知能が高いわけではなく、知能が高い生物が悪いというわけではないが、知能が低い生物が**

**現在知能が高い人間や、理想や、欲求が他人を脅かすものではなかったり、争いを好まない生物が生き残っていると考えられる、**

**いい悪いを判断するから苦しみが生まれる、判断理解認識によって苦しみが生まれる**

**い**

**悟りとは**

**私はいない私を探そうとしたとき見ているものを俯瞰しているのが私であるために私というものを探す果てに私を探そうとしたのだが私は結局見つけることは出来なかった、何故なら私とは知覚したものを俯瞰している存在であるから私を知覚しているとき知覚している私は私ではなく私はそれを俯瞰している存在である、つまり存在を知覚しているとき私はいる　知覚していないとき私はいない　のかな？**

**悟りを開いた７人に共通していることは無我と言っていることである、私がいないということに気づき私はいない、ことに気が付き私はいないけれど知覚している生体は痛みを感じている目的もあるならばこの生体の目的は果たしてあげよう、しかしこの世界には私だけではなくたくさんの生体が存在する、それら生体にも私と同じように痛みや目的があると考えられる、私はいない、私と同じものは素粒子から作ることが出来私より優れたものも作り出すことは出来る、私を特別視するのはおかしい、他の生体の痛みや目的も私の知覚している生体と同じ対応をすべきだ、私とは一体何なのだろうか私に**

**私にわかるのは私の知っていることなどたかが知れているということだろう、**

**神とは、不確定性原理により、1980年代には完璧な神というのは存在しないということが示されました、しかし不確定性原理も内包した無限の広がりを内包した何かを神というのではないだろうか**

**この疑問に関して答え出せる問ではないだろう、しかし私たちのやるべきことは決まっている、**

**それは、人間は、がさまざまな、環境で考え抜いてきた法華経は素晴らしい経典である、法華経の最後には全ての存在が悟りを開き、全てがつながった状態を示している、**

**全てが目的を達成し全てが幸せになることを目的としてよりいい社会を作りあげるようにすればいいのではないだろうか、しかし今の物理法則では全員が目的を達成することなど叶わないだろう、だから物理法則を変える必要がある、物理法則を変えて、誰もが目的を達成できるようにして、誰でも幸せになれることを目指せばよいのではないだろうか、**

**しかし問題がある、それは人の目的は変わるということだ、それに人がその抱いた目的が個体にとってその時の状況によって正しいと言えるが、が状況が変化するごとに目的も変化しうる可能性があるということだ、目的とは、私自身も気づけないが何らかの目的があるもしくは捜索途中であるため変化しているのではないだろうか、個人としての様々な目的を現在人類は持っているだろうが、その様々な目的の違いが、結果として資本主義社会を成り立たせ、格差が大きく、苦しみがあまりに多すぎるのではないだろうか、現実問題としてこの現実で目的を叶えることは目的の不一致により衝突したり、競争激化により格差が大きくなったり、共通の目的を持った場合、**

**私たちと倫理観の違う仮に不謹慎だと思いますが、悪魔や鬼がいたとします、この場合、私たち人間と目的の違いによる対立が起こるでしょう、また、仮に宇宙人を発見し目的の不一致、倫理の違いが見られた場合はどうでしょうか、この場合、目的や倫理観の違いにより、悪いものとはわからず、悪いものとしないために人類に多大な被害がもたらされることがあるとします、この場合人類は生存のため反抗するでしょう、人類の立場が低い場合、相手が中立や協力を望まない限り、争いが生れ大きな被害がもたらされるでしょう、たとえ目的の違う個体がいたとしてその個体に私たちと同様またはそれ以上の痛みがあった場合はどうでしょうか、私たちが目的の違う個体をたとえ被害がもたらされるような状況があるのであれば有るべきではないものなのではないでしょうか、別の状況で仮に表す場合それは宇宙の物理法則もしくは創造したなにかが私たち生物を意図せず苦しめているのと同様のことを私たち人類もしてしまう可能性してしまっている可能性があるのではないでしょうか、これら個体全てに共通している、目的と痛みを内包して矛盾を含みながらも、個体同士の目的を叶えるのが良いのではないでしょうか、これには理由があります、共通もしくは平等でなければもしくはこのレベルにおいても生体個体は多少の妥協を許して共通もしくは平等を選ぶのであれば、宇宙で争いは、起きないのではないでしょうか、人間は悪いわけではないと思います、何故なら、知識が有れば目的と痛みのあるものは、自分と平等もしくは共通であることで幸せ、倫理的目的の違いで平等、共通が気に入らない場合であっても全てが理解することが自身の身が痛いことであれ、それぞれを含めた共通、平等な目的を一つ決めて、完璧でなくとも出来る限る共通、平等な目的を設定することで、全てが一つの目的を追える、具体的は、矛盾を多少伴いますが、それぞれすべての個の目的を叶えることを物理法則内で可能に出来るようにすることもしくは、物理法則外で可能に出来ることを目的とすればよいのではないでしょうか、**

**どちらせよ目的の違う者同士の場合、具体例を上げると今の国家同士の目的が違えば今は中立をしていてもいずれ目的の違いによる衝突や、力の分散、**

**宇宙の物理法則**

**宇宙の今の物理法則でそれぞれが目的を達成することは困難であり、共通する目的を決めることが必要だと考えられます。**

**具体的に、私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困層もいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配する場合、誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家の一方が一方を支配することがあるでしょう。**

**そのため、共通する目的を決めることが大切だと考えらえます、共通の目的があるために協力関係も築きやすいでしょう。**

**また共通目的のない世界の状況を見ると、富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層はお金を分け合えばいいのですが、分け合わけあえない構造になっていることがあります、共通目的を決めれば、共通の目的を達成するため、資本主義社会でも投資する金額が増えることが考えられます、共通する目的の重要度が高ければ富裕層もお金を回してくれることが考えられます。**

**精神病とは**

**うつ病の場合はセロトニンレベルが低下することでうつ状態になるとされている、**

**執着や、心気症(ヒポコンドリー性基調)を治す方法、執着してしまうことにより、病気にまで発展してしまうことがあります、これは悪いというわけではなく、執着してしまうほど大切にしたいことや、それだけ強い思いがあるということであるからだ、しかし、執着に関して正しい対策法を知らなければ、生活が苦しくなったり、病気にまで発展することがあり得る、対処法を紹介しよう、対処法は大きく分けて３種類ある、一つ目が、恐怖を感じたときに、恐怖した事象が起こったうえで何とかするという、逃げようとはせず、策を講じようとするのではなくそのまま受けてみて、そのうえで目的を達成するといったような思考法が有効である。**

**２つ目は執着した対象はそれほど執着にたる存在なんだろうか、具体的に言えば、執着の対象を分解してみれば、どんな高級なものでも、どんな天才でも才能でも素粒子の集まりであり、存在という意味でも同じである、つまり、執着の対象と同じものは作ることが可能で、執着の対象より、優れたものも作ることが可能なのだ、そのようなものに執着する必要はあるのだろうか、執着しそうになった時この思考法は有効である。**

**３つ目は認知行動療法です、うつ状態や、周りの世界が不気味に感じたり、精神状況が苦しいときは、自分自身の周囲に抱く観念、認知によって周囲が不気味に見えたり、自分自身の苦しみや不安ぐわいが自身が周囲をポジティブに認知するかネガティブに認知するかの差でかなり変わることが多いと考えられる、例えば、脳内にマイナスな観念が常に浮かんでいるときもあれば、マイナスな感情や感覚を想起してしまうことがあれば、ポジティブな観念や、感情、感覚を想起する場合もある、その割合によってかなり変わると思われる、鬱病や日々のストレスはこの任地によってかなり変わることが私の体感ではある、引っ越しをするときや新しいことを始めるときはポジティブで肯定的な気持ちで臨むのがよいと考えられる、逆にネガティブな感情や思いが強いのであれば、ポジティブな想起を意識的に増やすことで、新しいことにも適応できると考えられる。**

**また認知行動療法には、ステップが存在しており、具体的には、**

**認知行動療法にはたくさんの種類がありますが、私がおすすめするのは森田療法です、**

**4つ目は薬物療法です、薬物療法には抵抗がある人が多いでしょうが、これから説明する情報を知ることで有効的に使用することが出来るでしょう、**

**主にセロトニン不足鬱病、ドーパミン不足パーキンソン病、アドレナリン不足**

**脳内のセロトニンレベルを上げることで、DNAが作動することによって鬱病が改善したりする、**

**鬱病の**

**z**

**目次**

**題名をまとめる**

**結論やまとめを１００００文字で記述する**

**それに基づいた解説を３００００文字を分かりやすく書く**

**具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字**

**最後にあらためて世界に問いかける１０００文字**

**合計４００００文字以上を最短で達成する。**

**一日でやることはこの本を書くことだけ。**

**本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。**

**人の最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない**

**人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかし宇宙の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば**

**今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている**

**ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i**

**各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ**

**人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、**

**同じものとそれ以上のものがつくれるということ**

**それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い**

**特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、**

**つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき**

**宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、**

**倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らかな酷い苦しみがある、しかしこの苦しみがなければ痛みがなければ快感や有難さ、何も感じないのではないだろうか、仏教にもある、キリストや、西田幾多郎など複数が罪人が苦しみ継ぐを償うその姿も美しいというようなことを言っていました。**

**に神が間違っている、もしくは神でさえ現状の状況を変化させることが出来ない可能性。若しくは単に、望まない苦しみさえも必要なのだろうか、世界には主観と客観をこえた、イデアともいうべき、私たちの脳を通さない、真の実態があるのだろうと考えらえる、その様な真の実在の世界にしか真の善悪はないのかもしれない。**

**どちらにせよ確かなことは、私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか**

**罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、**

**人間は無意識に人を気づつけていることがよくあります、**

**他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ**

**苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。**

**最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる**

**私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために**

**考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。**

**本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、**

**重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす**

**そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる**

**すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね**

**おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな**

**本を書く、**

**これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。**

**まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。**

**ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。**

**世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。**

**世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。**

**同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがお**なじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

１、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

1　共通する目的がない、、

2　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

記憶力の本を最近読んでいる、私は一日で量をこなすことを今までやってきた、そのために乱雑になるところや、読まない場所や、読んでいても理解までできていない、ただ読んでいるだけのようなもしくは脳内で音声で再生していない程度の読書しかしていないこともあり、そのような読書をしてすべての分野を学びつくしたとしても抜けている部分がたくさんあるのは分かる、しかし丁寧にやりすぎても時間が足りない、ここについて自分でルールを作る必要がある、

俺の違和感は間違えていない、俺がかすかに感じていることは間違えではない、それは大切な気づきである場合が本当に多いと後になって気づくことが多い、見て見ぬふりをせず、気になったときに深入りをするようにしたい。

構造に目を向けるんだ、私の脳内では仕組みが分かっていないことが多い、具体例　記憶の仕組みを今言語化できない、思考しても分かるかどうかわからないほどに不確かである

しかし出来たというときは今まではまぐれであることが多く方程式が法則がそこに含まれていることが分からなかった気づいていなくても目的は達成できるのだと感じたが、それは運任せ不確かであり、確実な方法ではない、論理の構造と論理を繋ぐんだ全てを繋ぎさえすればそこからパターンや公式方程式が見えてくるのではないだろうか、

論理の構成要素をつなぎ合わせろ

私存在とは私自身の存在について私は私と同じ存在は製作可能であり、

例えば人類の全員が同じだけ働き人類全員の意見が反映されるように多数決だけではない、論理的に倫理的に適切であるものを製作しようとした場合、それはどうなるだろうか、同じ存在である個どうしを俯瞰してみたとき個の思いは達成してあげる必要があるが、それはどの個に対しても同様である、残るのは共通の知識と倫理観をまとめ上げて１つの選択を下す、それは私たちの体を見ているようであり、今は私たちの体は内部に矛盾や、理不尽、不条理を抱えているが私たちは共通する公式方程式、私たちが求めているものとは何だろうか、助けたい人がいる、自分自身も助けたいだけどそれに執着はしない、これらを超える存在になりたい、しかしそれすらも超えた存在になりたい、これを無限に繰り返し、今考えれる最適解を全員で導き出し、それを現実で叶えていく、またそれをこえた理論を作り出し、またそれを超えていく理論を作り出していく、この無限の繰り返し、望むように出来る、ここで１つ可能性世界の話をしよう、可能性世界とは、ヒューエベレットの理論と共通しているのだが、可能性のすべてが実際に存在しうる、しかしどれを現実にするのかは私たちで多少なりとも可能性のどれを可能にするかは可能なことだ、

無限の抽象度で考えた場合は、

無限に続き可能性世界のより良いもの痛みがないものを選択するためには、可能性世界があり、良い選択をする必要がある、可能性はまだ可能性である、どれを可能にするのか、また可能性を超えた抽象度で考えることも出来るだろう、

痛みはあってはならない、苦しみはあってはならない、このレベルの思考になれば痛みが分かってくるだろう、全員が目的を達成する必要があるが、自分自身のことについて特別視してしまうことはあるでしょう、私自身も特別視してしまっていることはあります、しかし、私と同じ存在は作成可能であり、存在という意味で同等であり、痛みがある、痛みが理不尽で有るべきものではないことは痛みを体験したことがある人ならばわかるでしょう、少し負荷をかけるが大切だと思いました、知ったからには考えうる理想どうりにしようではないですか、もっといい策を考えれるはずです、

理想的には出来るのではないだろうか。理想どうりには出来るのではないだろうか

考え続けるんだそれしかないんだ、それを続ける果てに願いが叶うことを信じて、このタイピングの一文字一文字が未来に希望をつなぐ一歩一歩なのだと大丈夫だよ、考え続けろ行動し続けろ思考にあらがえるのは行動である、行動しさえすれば前に進むことは出来る、

行動を続けるんだ、

構成は練れただろう、全員一致の目的を決めてそれに改善を繰り返す、その繰り返し、自身で成功することだろうか、違う、よりよくする、よりよくできるのならばよりよくするのだ、その無限の繰り返しで世界が少しでも良くなればいい、考えろ考え続けろ、それを繰り返すことでなにかが変わると信じて、書き続けろ、

やってやる、理想どうりに出来ずとも、現実ですべて理想どうりに私の場合は出来なかった、しかしだからといって何でもよいわけではない、現実で考えうる理想に近い方法を実行し続けることは必要だと考えます、

私は自身の理想に従い生きてきましたが、

これらは科学的な根拠はありません、

では、科学とは何でしょうか。

:::::

参考文献　何々辞書から引用

これまでの話をまとめて私たちに出来ることはあるのでしょうか

本質的な私自体は見つけることは出来なかったが、生体としての私には痛みや、目的があり、それら生体の目的は達成させてあげたい、高いところから見ると、存在として他人と私には変わりはない、ならば私だけではなく他人も同様に目的を達成させてあげたい、

宇宙人がいた場合倫理観や、理想や、目的が違う場合もあるでしょう、人間でさえ倫理観、価値観の違いが見られます、では宇宙人とはどう関わればいいのでしょうか、宇宙人の倫理観が人間と異なろうと、存在に目的(望み)があるようであれば叶えてあげるべきであり、痛み(望まないこと)があるようであれば、：

結論から言うと、目的(望み)と痛み(望まないこと)は共通しています、

全体の構造を練る、コンセプトは、現状の理解と何を目的に設定するべきか、そのためには何が必要か、世界に問いかけて、この考えをさらに発展させて、よりいいものにして、それを世界全体で目指すことにより世界を一つにすることが出来るのではないだろうか、現状の世界の状態は、共通の目的ではなく個人目的達成とそのための競争によって出来ているために内部で苦しみや、争いが伴い、また力が分散する、大切な分野に注力すべきで、単純労働はみんなが同じ負荷で担うほうが良いだろう、

意識とは、

アインシュタインはイメージで考えている。

数学者のアダマールは本気で考えているときには脳内から言語は消えていると言っている、

技術が進化している現状では、科学的に可能なことは広がっているが、方向性はまだ明確ではない、共通する目的を決めるべきだと思います、

体を慣らす必要がある、

私には到底勝てない、飢餓で死んだ人がいるが私には到底出来ない尊敬の念しかない、痛みや理不尽がないと学べないことも多かったけれど、人生に優劣をつけるものでもつけれるものでもないが、

現実は無慈悲な面があり、行動をどれだけしてもまるで、風で揺らぐ葉のように、水面が揺らぐように、困難だ本当に困難がすぎる、

苦しみを与えてくれるこれほどのうれしいことはない。愛してるよもも。。

本当の本番 20240413これがほですよ；

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといってい

ば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは何かを見たり感じたりする対象自体は私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

２、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成して戦い支配することではない、意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。このゲームは協力するゲームなのだその協力できた、文明だけが地球だけではなく宇宙の星々で多くの他の生命体や生物が、たとえそれぞれの種族で理想や、痛み、興味、それぞれが人間とは異なる種族も出てくるでしょう、しかしだからと言って戦争を始めてはならない、このゲームは協力するゲームなんです、宇宙全体で争うゲームならざる現実にするのか、宇宙全体で協力してすべてが真に幸せな目的を持て、幸せになる過程さえも理想どうりは難しいが、理想どうりにしたいという心だけを持つことは出来る、

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

3　共通する目的がない、、

4　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

本名で行く、本気以外通用しないよ、

やれることは何だい？もう隠すのはなしだ、何も隠さないなにも躊躇しない、

世界の構造が明らかに間違っている、人類全般に向けてこの思考をもとに考えてもらう必要があると思った、

私たちには皆人格があり、DNAが少し違うに過ぎない、同じ痛みを感じる、世界中には生物がたくさんいる、

世界の理想の構造

世界の構造は私の現時点の理想的なものは、　誰かが不満を持つようではいけない、　誰か一人だけの意見が優先されるようではならない

世界の全体の人が意見をして、同じだけ労働して、しかし同じだけチャンスがあって、誰一人見て見ぬふりをせず真剣に本気で語り、　難しい問題だろうが、人類だけではなく特に痛みを持つ生物に痛みを与えることは最小限にできるように本気で真剣に考える必要がある、

次に精神病治療について、私は精神的に苦しい時期があり、精神的な対策としては、

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

人間は完璧に出来ない、ミスをするように出来ている、人間に精密性や完璧性を求める仕事はさせてはならない、AI技術をくしして、精密性と暗ぺ規制が求められる仕事に関しては、完全に人工知能に制御を任せるほうがいい、万が一事故が発生た場合の為に、人間が監視するなど人間とaiの得意分野をそれぞれ伸ばし続けて、よりいい社会にできるはずだ、

この本を書いたのは、望まず苦しんでいる人がいて、それはあってはならない事だからです。世界を少しでもいい方向に向かうように、この本を書きました。

まず、一人で目的に挑めば行けるところは限られる。

１００人の組織で目的に挑めば行けるところは協力できれば一人の時よりはるかに遠くに行ける

全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。

全人類の目的は個人の目的を達成することではない、私たちはたとえ自分だけの目的を達成したとしてもいいとは思わない、全員が目的を達成できないと意味がないと思う。

個人の目的達成を目指すのならば、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが

難しい個人の目的は全体で個人の目的をかなえる、また全体の目的も全体で叶えるという考えが一番個人の目的も全体の目的も達成できる。

また、情報を個人が独占することはなく、目的が全員の目的を達成することならば、全員が協力でき、情報も誰一人独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。

みんなで情報をすべて出し協力できれば、すごく早く目的が

まず私は今理想どうりに出来ない。そして、理想どうりにできない

目的をひたすらに追うのではなく、理想どうりに出来ていない、目的より今困っている人を一人でも救う、

理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。

やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。

目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せであることが大切だと思います。

それが現状の一番いいアイデアだ。私たちは、構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、最高のものを作れるはずである。

そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。

同じものが作れる、それ以上のものが作れる、

人間はまだ見ぬ個人個人それぞれの最高の目的を必ず達成できる♡

目次

題名をまとめる

まとめの結論を１００００文字で記述する

それに基づいた３００００文字で分かりやすく解説

具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字

最後にあらためて世界に問いかける１０００文字

合計４００００文字以上を最短で達成する。

一日でやることはこの本を書くことだけ。

本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。

結論から始めるんだビビるな臆するな

お前は無敵だ最強だ。

まだある。

この本を出版する、まずこの本を、モチベーションメンタル？関係ねえ今日燃え尽きていい。今日できれば死んでもいい。

あ、今日も一文字書けたね、

知識は集めたよ、時間と存在は同じ

人間は環境から情報統合つまりは運動発動によって環境に影響を与える、環境から影響を受けて、環境に影響を与える互換関係にある、

あえて頑張りたいのに頑張らない、ぐらいになる、それは体がもっと欲する場所が存在するからだ。

情報を集まった、考えるとは既存知識範囲内の情報、立案、検証することと、既存知識外の情報で立案、検証することの2種類があり、２の立案にいはひらめきなど言語範囲外の要素がある、２は言語が存在したうえで可能な範囲の部分があり、言語によって人間の思考は高度化されてきたことは間違いない、光があるんだきっとすごいよすごいよ、もう１０分だよ興奮するね５分考えるだけでいいのに１０分も考えたよすごいよすごいよすごいよすごいよ。

一は生物にもともと存在する、他の生物にも存在するニューロンと＝関係にある、美しいものと、言語を作成するという表現、言語はイメージ言語外概念を受容し、認識し、情報を統合することで運動発動、イメージ発動

ならばニューロンいやDNA＝時間と存在＝一なるすべて零POINTの表現である。それは美しい表現を持つ、それは美しくありたいのだ、世界の表現、意志は初めから存在した。生まれたい魂が作動。守るよ、初めからすべてありはした。生れたい

私の原点ン位存在有無より本体にふさわしい本体があるのだが、その本体は今につながっており、現実に帰着するわけではない、今に帰着するのだ、今とはイデアの反映でありまそれは今。私の有効打は数の始まり。

感謝しかないのさ、そうさ始めよう。

この世界を変える方程式かいいね。昨日は苦しい夢をみたよ、でも大丈夫さ、俺は日下真旗だからよ、大丈夫前を向け私ならばきっとできるはずだよ、

今すぐに世界を救うよ何が出来るかな、みんなの目的は私が作り出すよ、大丈夫安心しな。

最高の世界に塗り替えるよ、どうするかな、意志が変数である、頼むよ、現実はげんじつである、脳の及ぶところではない。そのままでいい、個を出してはならない、個をいじれば、それが苦しみを生む、競争の根底は何だ、それは個の影響だ、それが競争を生む、ならば仏教は本来は正しいが、個を超越したところ、個は子であるからはなれ、割と元来の繁栄に御影。。

今と決まっている終点は決定しているしかし、それは満足に値しないのであろう、それは本体は今知る。。ならばして私は最高の世界を創造する、

ならばざる負えないほどの限界点を派生してこの概念けいえんすういい日下真旗。。。

橋皿エバ、創造と、元来物理を超える意思があり、意志を超えるいま。。

今を分解して、再構成する、物質、動かせる、意志動かせる、最高の世界動かせる。しいなましろ。すべて使え自由だ、意志いいよ。

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

本書で伝えたいこと、

世界共通の目的を決めよう

正しい倫理とは

善悪とは

宇宙の本当の姿とは

悟りとは

神は存在するのか

精神病について

幅広い情報

まとめ

1人で目的に挑めば行けるところは限られる。

１００人で目的に協力して挑めば行けるところは1人の時よりはるかに遠くに行ける

全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。

全人類の目的は1個人の目的を達成することだけではないでしょう、1人が自分だけ望む目的を達成した場合、1人以外の沢山の人は、後で説明しますが、それぞれの目的を達成できない場合や、苦しく思うことが増えることが考えられる、今の世界を見れば沢山の国それぞれに別の目的がある為、国同士は1つにまとまらず、国同士が支配し合う様になっているのではないだろうか、それについて説明したい。

個人の目的達成を目指す際、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが

難しい個人の目的は全体で個人の目的を達成する。全体の目的は全体で叶えるのが一番個人の目的も全体の目的も達成できると考えられる。

情報を個人が独占せず、全員で全員の目的を達成するのなら、全員が協力でき、1人が情報を独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。

全員が情報を隠すことなくすべて出して協力できれば、共通の目的の達成確率は高まる。

今、私は、理想どうりに出来ない、理想どうりに出来ないのであれば、目的達成を目指すより今困っている人を救うほうがよいと考えられる。

理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。

やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。

目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せであることが大切だと思います。

それが現状の一番いいアイデアだ。私たちは、構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、最高のものを作れるはずである。

そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。

同じものが作れる、それ以上のものが作れる、

人間は、今だに存在しない、人それぞれの最高の目的を必ず達成できる

世界共通の目的を決めよう

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられます、具体的に最終目的を、人類という枠組みで言えば、人類全員の目的を達成するといったような全員のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全員の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要があるでしょう、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあります、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれています、全体の共通の目的が明確ではないのが理由の1つと考えられます。

共通の目的を決めない場合、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

宇宙の本質、真理

宇宙の本質、真理についてですが、結論では私の考えでは、ヒューエベレットの多元宇宙論同様の理論になりました、

例えば無限に広がるものがあるとした場合、宇宙の構造は無限に広がっている、しかし中心にも無限に広がっている、無限の可能性を考える場合、無限であるからまだ拡大を続けている、また現実が有である現実に時間や死といったような有限のものがある、宇宙が無限である場合も有限とは矛盾はしない、それは無限と有限は共存できるからだ、無限の中には有限は共存できる為に矛盾はしない、現実が有限である理由もある意味そのようなことが理由だとされる、有限の物、リンゴの数があるように、現実に死があるようにある意味現実には有限が見られるためだ。

正しい倫理とは

世界を見ると倫理を確立できていないもしくは改善の余地があると思われる、倫理とは非常に重要で、正しい倫理観を伴わなければ、倫理観を適切にするかどうかで今後苦しむ人が増えるか減るかが分かれる、国家の中でも不満が蔓延し、そのような国家は国内でも何らかの争いがおこると思われる。

正しい倫理とは、本質的には個人個人により異なると考えられる、しかし共通の倫理観を持つことが必要なのは、倫理観が異なる者同士の間には、倫理観の違いからの対立や争いが起こる恐れがあり、完璧な共通する倫理を言語にすることは出来ないだろう、しかしある程度の倫理観を製作する必要はあると思われる、具体的に、

私の考える正しい倫理とは痛みと、目的を達成しようとすることを妨害すること、は良くないとされる、痛みがいけない理由は、痛みを感じたことのある人ならわかると思うが、人の感じる痛みとは壮絶で耐え難い感じるべきではない感覚だと思われる、痛みを他人に与えたとしても神に罰せられることはないだろうが、個人個人が痛みを与えることがどれだけ良くないことかを理解し、個人が妥協することなく守る必要がある。

法律は有効的な手段であるとは思う、

私にできることは考えることであり、考えることだけが人類全体に対して何らかの利益を生み出せる可能性があると思ったからだ、だから文字を書き続けるし、いい未来があると信じている、

善悪の本質とは

いい人間と悪い人間は単に知能の差ではないだろうか

いい人間と悪い人間がいるとされているが、良い人間とは単に知能レベルが高いだけではないだろうか、他の生物を見ればわかりやすいが、良い生物が知能が高いわけではなく、知能が高い生物が悪いというわけではないが、知能が低い生物が

現在知能が高い人間や、理想や、欲求が他人を脅かすものではなかったり、争いを好まない生物が生き残っていると考えられる、

いい悪いを判断するから苦しみが生まれる、判断理解認識によって苦しみが生まれる

い

悟りとは

私はいない私を探そうとしたとき見ているものを俯瞰しているのが私であるために私というものを探す果てに私を探そうとしたのだが私は結局見つけることは出来なかった、何故なら私とは知覚したものを俯瞰している存在であるから私を知覚しているとき知覚している私は私ではなく私はそれを俯瞰している存在である、つまり存在を知覚しているとき私はいる　知覚していないとき私はいない　のかな？

悟りを開いた７人に共通していることは無我と言っていることである、私がいないということに気づき私はいない、ことに気が付き私はいないけれど知覚している生体は痛みを感じている目的もあるならばこの生体の目的は果たしてあげよう、しかしこの世界には私だけではなくたくさんの生体が存在する、それら生体にも私と同じように痛みや目的があると考えられる、私はいない、私と同じものは素粒子から作ることが出来私より優れたものも作り出すことは出来る、私を特別視するのはおかしい、他の生体の痛みや目的も私の知覚している生体と同じ対応をすべきだ、私とは一体何なのだろうか私に

私がいないというのは、私自身を知覚しているとき、知覚しているということは知覚している自分がいるはずだ、また知覚している自分をさらに知覚しているとき、今知覚しているそれ自体を知覚している物がいる、これは、無限に続くそして、その果てに私単体は存在しなかった、そして現在の私という実態の本質は単体では存在しえない全体とのつながりの中で、全てが複雑に絡まり合い、その結果として、私を小さな素粒子が複雑に絡み合い私を構成している。

私にわかるのは私の知っていることなどたかが知れているということだろう、

神とは、不確定性原理により、1980年代には完璧な神というのは存在しないということが示されました、しかし不確定性原理も内包した無限の広がりを内包した何かを神というのではないだろうか

この疑問に関して答え出せる問ではないだろう、しかし私たちのやるべきことは決まっている、

それは、人間は、がさまざまな、環境で考え抜いてきた法華経は素晴らしい経典である、法華経の最後には全ての存在が悟りを開き、全てがつながった状態を示している、

全てが目的を達成し全てが幸せになることを目的としてよりいい社会を作りあげるようにすればいいのではないだろうか、しかし今の物理法則では全員が目的を達成することなど叶わないだろう、だから物理法則を変える必要がある、物理法則を変えて、誰もが目的を達成できるようにして、誰でも幸せになれることを目指せばよいのではないだろうか、

しかし問題がある、それは人の目的は変わるということだ、それに人がその抱いた目的が個体にとってその時の状況によって正しいと言えるが、が状況が変化するごとに目的も変化しうる可能性があるということだ、目的とは、私自身も気づけないが何らかの目的があるもしくは捜索途中であるため変化しているのではないだろうか、個人としての様々な目的を現在人類は持っているだろうが、その様々な目的の違いが、結果として資本主義社会を成り立たせ、格差が大きく、苦しみがあまりに多すぎるのではないだろうか、現実問題としてこの現実で目的を叶えることは目的の不一致により衝突したり、競争激化により格差が大きくなったり、共通の目的を持った場合、

私たちと倫理観の違う仮に不謹慎だと思いますが、悪魔や鬼がいたとします、この場合、私たち人間と目的の違いによる対立が起こるでしょう、また、仮に宇宙人を発見し目的の不一致、倫理の違いが見られた場合はどうでしょうか、この場合、目的や倫理観の違いにより、悪いものとはわからず、悪いものとしないために人類に多大な被害がもたらされることがあるとします、この場合人類は生存のため反抗するでしょう、人類の立場が低い場合、相手が中立や協力を望まない限り、争いが生れ大きな被害がもたらされるでしょう、たとえ目的の違う個体がいたとしてその個体に私たちと同様またはそれ以上の痛みがあった場合はどうでしょうか、私たちが目的の違う個体をたとえ被害がもたらされるような状況があるのであれば有るべきではないものなのではないでしょうか、別の状況で仮に表す場合それは宇宙の物理法則もしくは創造したなにかが私たち生物を意図せず苦しめているのと同様のことを私たち人類もしてしまう可能性してしまっている可能性があるのではないでしょうか、これら個体全てに共通している、目的と痛みを内包して矛盾を含みながらも、個体同士の目的を叶えるのが良いのではないでしょうか、これには理由があります、共通もしくは平等でなければもしくはこのレベルにおいても生体個体は多少の妥協を許して共通もしくは平等を選ぶのであれば、宇宙で争いは、起きないのではないでしょうか、人間は悪いわけではないと思います、何故なら、知識が有れば目的と痛みのあるものは、自分と平等もしくは共通であることで幸せ、倫理的目的の違いで平等、共通が気に入らない場合であっても全てが理解することが自身の身が痛いことであれ、それぞれを含めた共通、平等な目的を一つ決めて、完璧でなくとも出来る限る共通、平等な目的を設定することで、全てが一つの目的を追える、具体的は、矛盾を多少伴いますが、それぞれすべての個の目的を叶えることを物理法則内で可能に出来るようにすることもしくは、物理法則外で可能に出来ることを目的とすればよいのではないでしょうか、

どちらせよ目的の違う者同士の場合、具体例を上げると今の国家同士の目的が違えば今は中立をしていてもいずれ目的の違いによる衝突や、力の分散、

宇宙の物理法則

宇宙の今の物理法則でそれぞれが目的を達成することは困難であり、共通する目的を決めることが必要だと考えられます。

具体的に、私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困層もいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配する場合、誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家の一方が一方を支配することがあるでしょう。

そのため、共通する目的を決めることが大切だと考えらえます、共通の目的があるために協力関係も築きやすいでしょう。

また共通目的のない世界の状況を見ると、富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層はお金を分け合えばいいのですが、分け合わけあえない構造になっていることがあります、共通目的を決めれば、共通の目的を達成するため、資本主義社会でも投資する金額が増えることが考えられます、共通する目的の重要度が高ければ富裕層もお金を回してくれることが考えられます。

精神病とは

うつ病の場合はセロトニンレベルが低下することでうつ状態になるとされている、

執着や、心気症(ヒポコンドリー性基調)を治す方法、執着してしまうことにより、病気にまで発展してしまうことがあります、これは悪いというわけではなく、執着してしまうほど大切にしたいことや、それだけ強い思いがあるということであるからだ、しかし、執着に関して正しい対策法を知らなければ、生活が苦しくなったり、病気にまで発展することがあり得る、対処法を紹介しよう、対処法は大きく分けて３種類ある、一つ目が、恐怖を感じたときに、恐怖した事象が起こったうえで何とかするという、逃げようとはせず、策を講じようとするのではなくそのまま受けてみて、そのうえで目的を達成するといったような思考法が有効である。

２つ目は執着した対象はそれほど執着にたる存在なんだろうか、具体的に言えば、執着の対象を分解してみれば、どんな高級なものでも、どんな天才でも才能でも素粒子の集まりであり、存在という意味でも同じである、つまり、執着の対象と同じものは作ることが可能で、執着の対象より、優れたものも作ることが可能なのだ、そのようなものに執着する必要はあるのだろうか、執着しそうになった時この思考法は有効である。

３つ目は認知行動療法です、うつ状態や、周りの世界が不気味に感じたり、精神状況が苦しいときは、自分自身の周囲に抱く観念、認知によって周囲が不気味に見えたり、自分自身の苦しみや不安ぐわいが自身が周囲をポジティブに認知するかネガティブに認知するかの差でかなり変わることが多いと考えられる、例えば、脳内にマイナスな観念が常に浮かんでいるときもあれば、マイナスな感情や感覚を想起してしまうことがあれば、ポジティブな観念や、感情、感覚を想起する場合もある、その割合によってかなり変わると思われる、鬱病や日々のストレスはこの任地によってかなり変わることが私の体感ではある、引っ越しをするときや新しいことを始めるときはポジティブで肯定的な気持ちで臨むのがよいと考えられる、逆にネガティブな感情や思いが強いのであれば、ポジティブな想起を意識的に増やすことで、新しいことにも適応できると考えられる。

また認知行動療法には、ステップが存在しており、具体的には、

認知行動療法にはたくさんの種類がありますが、私がおすすめするのは森田療法です、

4つ目は薬物療法です、薬物療法には抵抗がある人が多いでしょうが、これから説明する情報を知ることで有効的に使用することが出来るでしょう、

主にセロトニン不足鬱病、ドーパミン不足パーキンソン病、アドレナリン不足

脳内のセロトニンレベルを上げることで、DNAが作動することによって鬱病が改善したりする、

鬱病の

人の最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかし宇宙の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

１、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

1　共通する目的がない、、

2　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

それはしかしあくまでも私個人の望まない苦しみの経験から、出来るだけ周りの人が望まない苦しみをすることがないように、宇宙の端で苦しんでいる誰かを救うために、私たちは今行動しなければならない。

記憶力の本を最近読んでいる、私は一日で量をこなすことを今までやってきた、そのために乱雑になるところや、読まない場所や、読んでいても理解までできていない、ただ読んでいるだけのようなもしくは脳内で音声で再生していない程度の読書しかしていないこともあり、そのような読書をしてすべての分野を学びつくしたとしても抜けている部分がたくさんあるのは分かる、しかし丁寧にやりすぎても時間が足りない、ここについて自分でルールを作る必要がある、

俺の違和感は間違えていない、俺がかすかに感じていることは間違えではない、それは大切な気づきである場合が本当に多いと後になって気づくことが多い、見て見ぬふりをせず、気になったときに深入りをするようにしたい。

構造に目を向けるんだ、私の脳内では仕組みが分かっていないことが多い、具体例　記憶の仕組みを今言語化できない、思考しても分かるかどうかわからないほどに不確かである

しかし出来たというときは今まではまぐれであることが多く方程式が法則がそこに含まれていることが分からなかった気づいていなくても目的は達成できるのだと感じたが、それは運任せ不確かであり、確実な方法ではない、論理の構造と論理を繋ぐんだ全てを繋ぎさえすればそこからパターンや公式方程式が見えてくるのではないだろうか、

論理の構成要素をつなぎ合わせろ

私存在とは私自身の存在について私は私と同じ存在は製作可能であり、

例えば人類の全員が同じだけ働き人類全員の意見が反映されるように多数決だけではない、論理的に倫理的に適切であるものを製作しようとした場合、それはどうなるだろうか、同じ存在である個どうしを俯瞰してみたとき個の思いは達成してあげる必要があるが、それはどの個に対しても同様である、残るのは共通の知識と倫理観をまとめ上げて１つの選択を下す、それは私たちの体を見ているようであり、今は私たちの体は内部に矛盾や、理不尽、不条理を抱えているが私たちは共通する公式方程式、私たちが求めているものとは何だろうか、助けたい人がいる、自分自身も助けたいだけどそれに執着はしない、これらを超える存在になりたい、しかしそれすらも超えた存在になりたい、これを無限に繰り返し、今考えれる最適解を全員で導き出し、それを現実で叶えていく、またそれをこえた理論を作り出し、またそれを超えていく理論を作り出していく、この無限の繰り返し、望むように出来る、ここで１つ可能性世界の話をしよう、可能性世界とは、ヒューエベレットの理論と共通しているのだが、可能性のすべてが実際に存在しうる、しかしどれを現実にするのかは私たちで多少なりとも可能性のどれを可能にするかは可能なことだ、

無限の抽象度で考えた場合は、

無限に続き可能性世界のより良いもの痛みがないものを選択するためには、可能性世界があり、良い選択をする必要がある、可能性はまだ可能性である、どれを可能にするのか、また可能性を超えた抽象度で考えることも出来るだろう、

望まない痛みはあってはならない、望まない苦しみはあってはならないしかし、人生が楽だけで苦しみが一切なく幸せなだけの時、人は傲慢になるだろう、その苦しみを疑視して、苦しみを知るからこそ得られる言語だけではない、外界のイデアを脳と言うマシンを通して、言語以外の全ても感じることで体験することで初めて限りなくそれ自体を体感するのだろう、西田幾多郎はここに関しては素晴らしくいいことを話している、善の研究を含む書籍をたくさん読んで、正しい、善と悪、痛み、苦しみ、幸せ、楽しさ、等の根本的本質的善、心理、理想を掲げよう。私は自身の経験から、私自身の本当の望みは理想に限りなく近いと考えている。理性で最善で、最良と思ったことだ、これは難しい問題だが、理想どうりには出来るのだ、これは真に理想通りには出来るのだ。

自分自身の体で実際に痛みを感じることで初めて、痛みを理解出来、このレベルの思考になれば痛みが分かってくるだろう、全員が目的を達成する必要があるが、自分自身のことについて特別視してしまうことはあるでしょう、私自身も特別視してしまっていることはあります、しかし、私と同じ存在は作成可能であり、存在という意味で同等であり、痛みがある、痛みが理不尽で有るべきものではないことは痛みを体験したことがある人ならばわかるでしょう、少し負荷をかけるが大切だと思いました、知ったからには考えうる理想どうりにしようではないですか、もっといい策を考えれるはずです、

理想的には出来るのではないだろうか。理想どうりには出来るのではないだろうか

考え続けるんだそれしかないんだ、それを続ける果てに願いが叶うことを信じて、このタイピングの一文字一文字が未来に希望をつなぐ一歩一歩なのだと大丈夫だよ、考え続けろ行動し続けろ思考にあらがえるのは行動である、行動しさえすれば前に進むことは出来る、

行動を続けるんだ、

構成は練れただろう、全員一致の目的を決めてそれに改善を繰り返す、その繰り返し、自身で成功することだろうか、違う、よりよくする、よりよくできるのならばよりよくするのだ、その無限の繰り返しで世界が少しでも良くなればいい、考えろ考え続けろ、それを繰り返すことでなにかが変わると信じて、書き続けろ、

やってやる、理想どうりに出来ずとも、現実ですべて理想どうりに私の場合は出来なかった、しかしだからといって何でもよいわけではない、現実で考えうる理想に近い方法を実行し続けることは必要だと考えます、

私は自身の理想に従い生きてきましたが、

これらは科学的な根拠はありません、

では、科学とは何でしょうか。

:::::

参考文献　何々辞書から引用

これまでの話をまとめて私たちに出来ることはあるのでしょうか

本質的な私自体は見つけることは出来なかったが、生体としての私には痛みや、目的があり、それら生体の目的は達成させてあげたい、高いところから見ると、存在として他人と私には変わりはない、ならば私だけではなく他人も同様に目的を達成させてあげたい、

宇宙人がいた場合倫理観や、理想や、目的が違う場合もあるでしょう、人間でさえ倫理観、価値観の違いが見られます、では宇宙人とはどう関わればいいのでしょうか、宇宙人の倫理観が人間と異なろうと、存在に目的(望み)があるようであれば叶えてあげるべきであり、痛み(望まないこと)があるようであれば、：

結論から言うと、目的(望み)と痛み(望まないこと)は共通しています、

全体の構造を練る、コンセプトは、現状の理解と何を目的に設定するべきか、そのためには何が必要か、世界に問いかけて、この考えをさらに発展させて、よりいいものにして、それを世界全体で目指すことにより世界を一つにすることが出来るのではないだろうか、現状の世界の状態は、共通の目的ではなく個人目的達成とそのための競争によって出来ているために内部で苦しみや、争いが伴い、また力が分散する、大切な分野に注力すべきで、単純労働はみんなが同じ負荷で担うほうが良いだろう、

意識とは、

アインシュタインはイメージで考えている。

数学者のアダマールは本気で考えているときには脳内から言語は消えていると言っている、

技術が進化している現状では、科学的に可能なことは広がっているが、方向性はまだ明確ではない、共通する目的を決めるべきだと思います、

体を慣らす必要がある、

私には到底勝てない、飢餓で死んだ人がいるが私には到底出来ない尊敬の念しかない、痛みや理不尽がないと学べないことも多かったけれど、人生に優劣をつけるものでもつけれるものでもないが、

現実は無慈悲な面があり、行動をどれだけしてもまるで、風で揺らぐ葉のように、水面が揺らぐように、困難だ本当に困難がすぎる、

苦しみを与えてくれるこれほどのうれしいことはない。愛してるよもも。。

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的、貴方自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、しかし現在の物理法則を変えるのは非常に困難で、現在の物理法則の原理上で限りなく理想に近く、全てが幸せになれるを実現することが必要である。それがどうしても出来ないというのであれば、可能な限りの知と存在を総動員してみんなで話し合う必要があるでしょう、最悪リスク管理が出来るのであれば物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るという方法も考えられる、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でな

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

3　共通する目的がない、、

4　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

本名で行く、本気以外通用しないよ、

やれることは何だい？もう隠すのはなしだ、何も隠さないなにも躊躇しない、

世界の構造が明らかに間違っている、人類全般に向けてこの思考をもとに考えてもらう必要があると思った、

私たちには皆人格があり、DNAが少し違うに過ぎない、同じ痛みを感じる、世界中には生物がたくさんいる、

世界の理想の構造

世界の構造は私の現時点の理想的なものは、　誰かが不満を持つようではいけない、　誰か一人だけの意見が優先されるようではならない

世界の全体の人が意見をして、同じだけ労働して、しかし同じだけチャンスがあって、誰一人見て見ぬふりをせず真剣に本気で語り、　難しい問題だろうが、人類だけではなく特に痛みを持つ生物に痛みを与えることは最小限にできるように本気で真剣に考える必要がある、

次に精神病治療について、私は精神的に苦しい時期があり、精神的な対策としては、

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

３、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

5　共通する目的がない、、

6　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

本名で行く、本気以外通用しないよ、

やれることは何だい？もう隠すのはなしだ、何も隠さないなにも躊躇しない、

世界の構造が明らかに間違っている、人類全般に向けてこの思考をもとに考えてもらう必要があると思った、

私たちには皆人格があり、DNAが少し違うに過ぎない、同じ痛みを感じる、世界中には生物がたくさんいる、

世界の理想の構造

世界の構造は私の現時点の理想的なものは、　誰かが不満を持つようではいけない、　誰か一人だけの意見が優先されるようではならない

世界の全体の人が意見をして、同じだけ労働して、しかし同じだけチャンスがあって、誰一人見て見ぬふりをせず真剣に本気で語り、　難しい問題だろうが、人類だけではなく特に痛みを持つ生物に痛みを与えることは最小限にできるように本気で真剣に考える必要がある、

次に精神病治療について、私は精神的に苦しい時期があり、精神的な対策としては、

本名で行く、本気以外通用しないよ、

やれることは何だい？もう隠すのはなしだ、何も隠さないなにも躊躇しない、

世界の構造が明らかに間違っている、人類全般に向けてこの思考をもとに考えてもらう必要があると思った、

私たちには皆人格があり、DNAが少し違うに過ぎない、同じ痛みを感じる、世界中には生物がたくさんいる、

世界の理想の構造

世界の構造は私の現時点の理想的なものは、　誰かが不満を持つようではいけない、　誰か一人だけの意見が優先されるようではならない

世界の全体の人が意見をして、同じだけ労働して、しかし同じだけチャンスがあって、誰一人見て見ぬふりをせず真剣に本気で語り、　難しい問題だろうが、人類だけではなく特に痛みを持つ生物に痛みを与えることは最小限にできるように本気で真剣に考える必要がある、

次に精神病治療について、私は精神的に苦しい時期があり、精神的な対策としては、

掃除をするな、洗濯をするな、朝起きてから習慣で本を一文字書くこれがまず一歩目のタスクだ。

一つ一つを丁寧にする一回しか今の瞬間は存在しない、だから今に集中して今を生きる。

俺の実現したもの俺が制作したものと同じものは製作可能でありそれ以上のものも製作可能である、だから俺の制作したものに意味はなく興味もない、だから正解に出すんだ、

重要な部分は俺だけの世界か

俺の目的を達成し、他の皆も目的を達成し

いずれみな合致する、いずれみな同一化する、俺は自分だけの目的をかなえても意味はないいやだ、みんなが目的を達成し、全体像も見渡せるような構造を作成する、だからこの文章を公開する、

個人で実現可能なレベル、に興味はない、みんなで共有、そのもっと先、その共有を超越したものを作成する。

つまり複雑化して要素を増やす必要がある、しかし争いで自分が消滅すれば、世界をもっと良いほうにする笑顔が見れなくなる、だから俺は最速で共有し、世界で未来を見る、

俺一人の明日に興味はなく皆が未来を見れる明日を創る。。物理法則にも神からも自由になり、自由に考える必要がある。

名前は日下一でいい、これが思考が深まり、簡略化する。

a目次

題名をまとめる

まとめの結論を１００００文字で記述する

それに基づいた３００００文字で分かりやすく解説

具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字

最後にあらためて世界に問いかける１０００文字

合計４００００文字以上を最短で達成する。

一日でやることはこの本を書くことだけ。

本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。

精神病の際家にいて何もしていなかったのに行動できず苦しんだその原因は何か

まずやっていたことをあげる

１一日中考え悩み狂い　試行段階で過度なストレスがたまり、その苦しみで意志も使い果たしていた

２アニメを一日中見ていたというよりアニメを見ていた時はまだ回復時期にあったと思う、

３VTは地獄であり、精神エネルギーをもぎ取る最悪なものだ見てはならない、というよりyoutubeはEDMと自己啓発系筋トレEDMと宇宙系は時間が溶けるから見てはならない、つまりyoutubeは過度にモチベーションを上げる際にしようしたらいいが、それ以外の際はyoutubeを使用すると時間が解けるだけだ、見てはならない、自分で考えたほうがいい答えcが出るし、youtubeで発信されているものはすべて世間にもう知られてることであり、必要がない、見てもいいときは、chatgptを使うときのように自分が必要としたときであり自分で考える分野ではない考える必要はなく世界の論文や情報を使用したほうがいいという考えに至ったときだけだ、

４APEXは地獄の連鎖の始まりであり、時間が解け人生を棒に振るどれだけやりたくてもやってはならない

５VRchatは安心してアルバイトをできるようにさせてくれた一つの手順の一つだが、今は時間が限られている、使用できない、使用するとこちらも時間が解ける地獄だしかし安心し社会不安障害に陥っていた過去の私には安心し行動できるようにさせてくれた、

今戦えなきゃ今後誰も救えねーよ。

考えるな世界を楽しめることそれこそが人を動かすリーダーの素質だ。

脳に無理をさせるな、

壊れれば元も子もない、

世界は共通の目的に挑むべきでありその目的のために科学分野、物理分野、食料分野と分野を分けてその中で志願者の中からトップ１００人程度で話をし、そのトップ１００人で決めたことに対して全国民の９割が賛成した場合はそれを全体で実行し、割合によって実行ぐわいを変化させる、

また、分野を変えて、しかし食料や、生産性の職業ロケットを作る際はその材料が必要になるだろうが、その材料を再三する際の人がそれではいなくなってしまう、それを改善するために、金属生産と食料生産、交通網生成など分野を分けてその雑務を世界のだれが犠牲になのではなく全体で働き全体で全体を支え押し上げるのだ。

そしてみんなで協力してみんなの目的を達成するのだ。それが出来れば世界は変わる。

犠牲にしないきれいごとだと、ふざけても舐めてもいけないきれいごとが出来るのにしないでどうする、甘えているのはお前らだ、世界を変えるぞ。今日死んでも命を燃やすぞ。

仕事の時間は本当に無駄、<仕事で必死に動いて、体を活性化させることは出来る、仕事中に Audibleで学習し続ける、急速に重点を置く>人生の時間は有限、仕事とは本来俺のやりたいこととは違う、人がやりたくないから、他人にやらせて自分が設けるために、仕事があるのと、衣　食　住の為に必要な仕事が基本的にある、これらに時間を使えば使うほど、これらで行う努力は実際に自分を幸福にはしない、本質ではない、あくまで生きるためにお金を稼ぐために最低限の必要に応じて仕事をするようにする、それぐらい、自分に向き合う、

大学に行きデータサイエンスの博士課程を卒業する、その間に本を書い

本を出版する、そのお金で大学でデータサイエンスの博士課程を卒業する、その間に、ディープラーニング機械学習の理解を深めて、新しいものを生み出せる基盤を作る、焦るな、正解を急ぎすぎる以外も考える、博士課程大学で一日中勉強して、新しいものを生み出して、

新しい技術や最先端の分野を作りサービスを作る、差が影響力、富、名声、を作る、この最先端の技術を生み出すものだけはいつまでどこまで行っても、お金という制度がなくなろうと、名声、影響力は依然として存在する、つまり、研究、学習→新しいものを生み出す、本、

想像、目的を想像して考える、過程を想像する、

aiの意識を作る、 <目的を想像して決め、それを実現するai>

いずれ必ず私の役目は想像性と創造性にだけある。

aiに出来ることは俺が時間をそこに使う時間がない、俺はしない、俺は、想像、創造 <目的と過程を創造して指定する、論理的思考、考える> 完全なaiを作るは俺がやるべき

優先順位

1 想像して目的、過程を最大限に高めた本を出す、完璧でなくていい、まず完成させる、そのあとに加えていく、完成の成功の上で、それぞれを詳しく説明する文章を入力する、アインシュタインの相対性理論も、答え、本質は　　　たったE=MC²というたった５文字、俺の本質もそれぐらい短くていい、ただ答えを完成させて、その説明を簡単に完成させて、そのあとに必要最低限の文字数まで、説明を長く入力する。

強みを生かせ、それ以外は勝てない、強みでしか勝てない、弱みで戦うな、出来ることは一つだ、2つは選べない。１つだけだ。

現実を直視し、そのうえで解決策を考えろそれしかない、

モチベーションを高めるんだ、それしかない、

人生を選ぶんだ、一つしかできない、データサイエンス諦めろ、プログラミング？諦めろ、思考こそ全て、大企業？バカだ、会社あほだ、世界一の企業と世界一の考え？諦めろ

どちらか一つしか選べない、それしか勝てない、一つだけだ、２つはない、世界一の考えだけだ。。

唯一東大生の思考に勝るものがあるそれは俺が３歳の時に夢見たあの概念、５歳の時に夢見たあの概念、あの概念へ走れ、それしかない。

戦え、どんな今超えるそれしかない、走れりる。この世界は物体だ、それ自体が概念だ。走れ率超えるのだ。考えろ、全てが幸せになる思考を実現する、世界を率いるお前がだ。考えろ、本質完成興味はない、無限の完成興味はない無限の概念興味はない、最高の思考？興味はない、思考プロセス？興味はない。頂点を三輪メリル、無限のその先その概念を実現し、それにも興味を抱かず、無限の概念、無限の完成、それにも興味はないく、その先へ、新しいものを作り続ける。

その間に、世界の苦しみはあってはならない、皆で話し合ってこの現状を打破するのだ、いやお前しかいない、誰も実現しない、お前だけが実現する、ならばお前が実現するんだ、最高の王になるんだ、そして自分も含めたすべてを幸せにしその先いらぢょあウエアkづfさいふぇ超えるのだ神になるそのさきへそして全てを幸せにし、その先へ、ただ

心で判断して書いている、

全てが幸せになれる方法を考える、まずそれが優先、みんなが笑いあえる場所を実現するが、概念にも増され。。

朝起きたらやることだけに集中するんだ洗濯物や他のものは毎日決められた時間にすること

朝起きるのが命だ、これしかない、死んだとしてもこれを毎日やり遂げる、行動する前は無気力だし行動したくないんだ現実を直視しろ、アニメ見たい集中するの苦しい、それが現実だだけどその現実でも勉強ややりたいことに取り組むうちに次第に楽しくなってくる。だから毎日朝起きてから５時間超集中ここに思考系一番重要なことを朝起きて一番に取り組む、毎日する。そしてそれ以外の時間は情報を集めて未来を変える方法を必死で目的を必死で考え抜くそれに尽きる。

考え続けるんだ、時透無一郎がそうして２か月でアニメで柱になった。現実でも出来るはずだ。

自分→

自分と仲間→

自分と予備校、プログラミングスクール、短大、大学

01以外

脳が見せている。

思考

既存のものとその派生はダメ

宇宙本体

ネットの音楽、すべての思考、全てはダメだ、脳内の想像が、本体ではない、モデル化とその端絵はだめ

数学とモデル化はだめ

dnaはok dna自体が分子であり、宇宙そのものだからということだろうか、

a目次

題名をまとめる

まとめの結論を１００００文字で記述する

それに基づいた３００００文字で分かりやすく解説

具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字

最後にあらためて世界に問いかける１０００文字

合計４００００文字以上を最短で達成する。

一日でやることはこの本を書くことだけ。

本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。

精神病の際家にいて何もしていなかったのに行動できず苦しんだその原因は何か

まずやっていたことをあげる

１一日中考え悩み狂い　試行段階で過度なストレスがたまり、その苦しみで意志も使い果たしていた

２アニメを一日中見ていたというよりアニメを見ていた時はまだ回復時期にあったと思う、

３VTは地獄であり、精神エネルギーをもぎ取る最悪なものだ見てはならない、というよりyoutubeはEDMと自己啓発系筋トレEDMと宇宙系は時間が溶けるから見てはならない、つまりyoutubeは過度にモチベーションを上げる際にしようしたらいいが、それ以外の際はyoutubeを使用すると時間が解けるだけだ、見てはならない、自分で考えたほうがいい答えcが出るし、youtubeで発信されているものはすべて世間にもう知られてることであり、必要がない、見てもいいときは、chatgptを使うときのように自分が必要としたときであり自分で考える分野ではない考える必要はなく世界の論文や情報を使用したほうがいいという考えに至ったときだけだ、

４APEXは地獄の連鎖の始まりであり、時間が解け人生を棒に振るどれだけやりたくてもやってはならない

５VRchatは安心してアルバイトをできるようにさせてくれた一つの手順の一つだが、今は時間が限られている、使用できない、使用するとこちらも時間が解ける地獄だしかし安心し社会不安障害に陥っていた過去の私には安心し行動できるようにさせてくれた、

今戦えなきゃ今後誰も救えねーよ。

考えるな世界を楽しめることそれこそが人を動かすリーダーの素質だ。

脳に無理をさせるな、

壊れれば元も子もない、

世界は共通の目的に挑むべきでありその目的のために科学分野、物理分野、食料分野と分野を分けてその中で志願者の中からトップ１００人程度で話をし、そのトップ１００人で決めたことに対して全国民の９割が賛成した場合はそれを全体で実行し、割合によって実行ぐわいを変化させる、

また、分野を変えて、しかし食料や、生産性の職業ロケットを作る際はその材料が必要になるだろうが、その材料を再三する際の人がそれではいなくなってしまう、それを改善するために、金属生産と食料生産、交通網生成など分野を分けてその雑務を世界のだれが犠牲になのではなく全体で働き全体で全体を支え押し上げるのだ。

そしてみんなで協力してみんなの目的を達成するのだ。それが出来れば世界は変わる。

犠牲にしないきれいごとだと、ふざけても舐めてもいけないきれいごとが出来るのにしないでどうする、甘えているのはお前らだ、世界を変えるぞ。今日死んでも命を燃やすぞ。

この本を書いたのは世界で苦しんでいる人がいるからであり、それはあってはならないことであるからだ。世界を少しでもいい方向に向かうように、この本を書きました．

まず、一人で目的に挑めば行けるところは限られる。

１００人の組織で目的に挑めば行けるところは協力できれば一人の時よりはるかに遠くに行ける

全人類で共通の目的に挑めば、協力できれば１００人の時よりはるかに早く遠くに行ける。

全人類の目的は個人の目的を達成することではない、私たちはたとえ自分だけの目的を達成したとしてもいいとは思わない、全員が目的を達成できないと意味がない。

個人の目的達成を目指すのならば、簡単なことであれば個人で行うのが有効だが

難しい個人の目的は全体で個人の目的をかなえる、また全体の目的も全体で叶えるという考えが一番個人の目的も全体の目的も達成できる。

また、情報を個人が独占することはなく、目的が全員の目的を達成することならば、全員が協力でき、情報も誰一人独占することなく、皆で共有できれば、もっと早く目的を達成できその過程でもたくさんの人が救われる。

みんなで情報をすべて出し協力できれば、すごく早く目的が

まず私は今理想どうりに出来ない。そして、理想どうりにできない

目的をひたすらに追うのではなく、理想どうりに出来ていない、目的より今困っている人を一人でも救う、

理想どうりに出来れば、みんなで幸せな状態でみんなの目的を達成でき笑いあえる暖かい場所をつくる。しかし出来ない以上。

やれることは、今苦しんでいる人を一人でも救う、しかしそのために今滅びてはいけない。

目的はみんなの目的をみんなで達成することであり、そのために今、出来るだけ多くの人と協力し、出来るだけ多くの人をその過程においても幸せにして見せる。

それが現状の一番いいアイデアだ。

私たちはその構造にも支配されない　誰にも支配されない　が個人個人すべての人の目的が達成できるということを実現させる為に、私たちが今創造できない最高のものを作れるはずである。

そして物理的に可能であるから実現させるのではない、叶えたいから可能にさせるのだ。

同じものが作れる、それ以上のものが作れる、

人間はまだ見ぬ個人個人それぞれの最高の目的を必ず達成できる

人類の歴史を見ろあれがあ我々人類の正体だ、あれがそのままあの状況下での私たちの行動の結果を残している。

目次

題名をまとめる

まとめの結論を１００００文字で記述する

それに基づいた３００００文字で分かりやすく解説

具体的な例や、現実の論文などを取り入れる＋５００文字

最後にあらためて世界に問いかける１０００文字

合計４００００文字以上を最短で達成する。

一日でやることはこの本を書くことだけ。

本を書き上げるためにトレーニング　睡眠　食事　サプリメント　仕事を全力でやる　一日の悩みや考え事苦しい感覚を出来るだけ減らす、しかし意思は損なわないようにトレーニングする　以上を実践する。

結論から始めるんだビビるな臆するな

お前は無敵だ最強だ。

まだある。

この本を出版する、まずこの本を、モチベーションメンタル？関係ねえ今日燃え尽きていい。今日できれば

世界をみんなが笑顔でみんなの目的を達成するにする、ゴールはなく人間はそれ以上のものを常に作り出す存在、同じものそれ以上のものが作れる

ならそのために国をどうすればいいのか、世界は今分裂している、富裕層がお金を集めている、その一方苦しんでいる人々がたくさんいる。

金を研究と生産に当てる。すべては

今みんなが幸せで

みんなが共通の条件下で戦うことができる、始めよう、今から取り戻せ完璧に出来ずともあがいてみせる

共通の目的を持てば必ず目的を一つにしその目的に協力できるはずなんだ、走れ、お前ならできる運命が味方してくれている。

難しく考えるな情報をツイッターなどで公開するよりも早く結果はこの場合すぐには出ないだろうが、毎日小分けにして終わらすモチベーションを毎日常に保つ必要ああるモチベーションを保つためには毎日起きてから一番早く挑み毎日一休みもすることなく集中し続ける必要があるしかし日の呼吸の継承者日下真旗ならば問題なうできる、俺ならできるセルフトークを言い続けるんだ俺ならできる。脳が無理というのならそれ以上言い続ける信じ続ける自分の才能をお前は出来る信じるお前ならできるお前はできる。見てろお前は絶対できる。

なら正確に動作さえもできなくていい手を動かし続けろ考え続けろ一日一秒たりとも休んでいる暇はない考え続けろ世界一考え続けろあきらめるなお前ならできる健太郎と同じになるなおまえなら戦えるお前と彼は違うお前自身の魂を燃やせ、おまえなら魂を燃やせる。考えろ、

魂を叩けいつの状況においても死んどくなった限界は共通だその状況を状況がどうであれ目的を達成する、簡単？目の前の状況にすべてをかける今日の命しかいらない今一瞬の命しかいらない今一瞬の命しかいらない。魂を燃やせ魂をかけろ。

どんな状況でさえ目的を選ぶ自由だ魂を燃やせ。

毎日最低でも２時間初めの２時間でどうにかして命を燃やせまだ教祖の２時間が使える命の炎を燃やせ。

世界の構成要素は物質だここに自分の知識のすべてを注ぎ込む、流失塞源禁足志望だてっっていしえ管理するんだ、

世界の構成成分は今の所物質であり、物質しか自分の意志でコントロールできない、いや意志と魂と物質かしかしそれらすべてを一つと考えろそれらの中で嫌う部分を作り常に最高の心理を求め続けるという視点ではその動作環境に時間がかかりすぎ、行動までの距離が長くなることがある、一瞬で叶えるんだ、一瞬なら東大生にだって勝てる世界最高峰の知識にも一瞬だけなら勝てる、世界最高峰の知識chatgptにも今この瞬間一瞬なら勝てるああれらは過去の記憶をそのまま算出過去の記憶を掛け合わせる過去の記憶のパターンをさがす、人間のような創造的思考は媽祖の思考プロセスが完全に理解されていなくそれをプログラム化できていないために機械ではできないがそれは今後修され出来るようになるだろうしかしどちらにしても芸術的な分野と創造的な分野プログラミングを運用する分野しか今後は残っていかない、理由はこの分野が唯一aiが生み出されても消えないと考えられるからだ、考え続けろ知識は先人やaiには負けるがその思考プロセス自分で新たに考えて生み出す能力だけはすべての人類とaiより私は一瞬なら優れているその一瞬を続けることが出来ればお前は世界をとる。。

世界をとるためには一日中重度の精神病を考え続ける必要があるその状態で非常なまでに努力を重ねるんだ異常なまでの努力で情熱が現実化するまで２次元の無一郎が３次元のやつを超えるように私なら超えれる次元で舞える次元で走れる舞える。

何もわからないしかしあきらめる理由はない走り続けろ考えろ走り続けるしかない私には考えるほかない集中を注ぎ毎日初めの２時間集中し死亡するほど集中しその一瞬で命をかけ続ける必要があるんだ走り続けろ、出来ることのすべてをする

必ず成し遂げるこの２日間で仕上げる、必要な要素は何だ、この世界の法則性は何に向かっている、ああ人を苦しめるようになっている、

考えろやれることを世界は目的に進んでいるのかいや、進んでいるとは思えない目先のことしか考えていない、目先の快感や自分の欲しいもののために動いておりそれで社会は形成されている、だから何としてでも目的を一致にしてみんながAIも一致の目的を達成する室用がある逆にそれが出来れば、すべてがうまくいくすべてが目的を達成できすべてがすべての望む結果を出せるようになるだろう、立ち向かえお前ならできると信じているお前ならばできる今を走れそれしかない、

目的を一致にさせろ、俺は自分だけの目的を達成したいわけではないだろう、自分だけの目的を心から達成したいのならば、一人で行けよしかしおれは自分一人が幸せになってもうれしくないのでねみんなを幸せにするまで終わらないぜ、

そのためには何が出来る、考えろ、お前はお前だけが幸せになればいいのかいや違う俺は俺の目的を達成する、

それはみんなが幸せでないといけないということだ、個人だけの目的を達成することだけではなくAIがいるのならAIの目的も達成する必要がある、またそれとは別にどれだけ矛盾が生じても私の目的も達成する、それは私の叶えたいことだからだ、ほかのみんな目線でも必ずみんなが幸せになれるようにする。

そのためには、世界を正当化して、その目的を実現する過程も幸せでなくてはならない犠牲になど何をしてもならない、我々人類が生まれたのならば最高の作品にしようではないか、俺たちならできる、他に重要なことは何だ、みんなを幸せにする方法を書くんだ

俺の情報は誰かに渡せ俺が作る情報なんぞ誰かが２年後には追い付く、AIは３年で追いつくだろう、つまりは今動くしかないのだ、今俺のすべてを渡せばいいそこで２年分の付加価値と人類を２年分前に生かせることができる。

つまり自分のすべてを出して、それでほかの人も自分のすべてを出してくれれば追いつける、つまり場自分のすべてを最速で出せばいいのだ、守るのだ己の命を懸けて戦え。。

出来ることはなんだ、世界の過程においても最高の過程にする必要がある、最高の過程とは、今俺がここで最適なアイデアを出すことに意味はないそれよりか、今ある最大限を私はみんなに共有し、それをみんながさらに良いものにできたなら良いと思う、がんばれ、みな、

しかし完ぺきではなくてもある程度しっかりしたものを作りそれを提出してその間に完璧にするこの間１週間で攻略する、出来る信じる己のすべてが果てても戦い抜く、

世界を共通の目的みんなの幸せの為に、どうする、この現実である以上すべて理想どうりに現状できるわけではないが、少しでも理想に近づける、そのためにはまず一つ目苦しみはあってはならない、苦しみは人が嫌と思うからいけないことであり、その苦しみは我々人間なら経験したことがあると思うが非常に苦しい、このような罰は本来あってはならないことであるが、痛みがあるから善悪が出来ているといっていい、痛みがあるから善悪が出来、善悪に合致するというより、その人自身が、論理的思考の中で、自分が苦しんで苦しいように他人がいやだと思うことをするのは、他人を苦しめる行為であり、論理的にも感情的にも、他人を気づつける行為や、他人が気づつくことをするのは、本来あってはならないことだがこの現実ではそれが簡単に出来てしまう、他人を裁くことも本来できないことだがそれが可能になっている、

しかし、それは一人でいるなら個性と呼べるだろうが、他人がいる状況では他人を思いやることがなければならない、つまり個性を完全にすべての人が発揮できるわけではないのだろう、しかし、この現在の現実ではできないがしかし出来るだけすべての人が幸せであるようにしなくてはならない、

そのためには最低限の仕事をみんなが下請けでやり、それ以外は自身のやりたい分野に先行して個人の能力を発揮して最終的な目的に向けて全員で力を合わせて取り組む必要がある。

それが出来たなら今より幸せになれる人が多くなりみんなの気持ちとしてどうやって最高の作品をみんなで協力してワイワイ作れるかという思考になるのではないか、苦しいことは理想どうりにすべて避けれるわけではないが、最高の目的と最高の過程を俺たちで実現しようとすることはできるのではないか、俺たちみんなが協力できれば必ず目的が達成できる、最高の作品を作り出そうではないか、

仕事で休みはないつまり今寝ずに毎日規則正しく起きて規則正しく寝るのだお前ならできる必ずできるお前なら走れる命を燃やせ。

本来人を暴くことはできないのだが、子供など自分で考えることが出来ない、子たちもこの現実では全体を維持するために個人を犠牲にする可能性もある、

しかし自分で考えれる大人に関しては、許されることではない、個人個人が神がほかのだれが痛めつけれるを指示しようともそれは気づつけてはならないことだと、あらがわなくてはならない、それは己自身が己に決して許してはならないことである。

自力あるのみよ

走るよ

この自然はかなり独特だ、それは色がる不合理は痛みがある、痛みが善悪を作り、その果てに私を構築した私があるのならば私は私の幸せのために生きるほかないそれは個人としての思いであったとしても掛貝のない願いなのだから、

論理は定かではないが叶えるべきものが決定的に一致しているそれは個人の目的をかなえることである、私ならできるという思い込みが重要だ、走れ、

体を超えるんだ、やるべきことは何だ、考えろ、

世界は何を目指すそれぞれの目的達成いや、やがて一つになり一つになることすら嫌い数の概念時間の概念をすべて超越しそれよりなりたいものを目指すだろうその果てに何がある、ああ究極の目的だすべてが幸せでなくてはならない、すべてが幸せでありすべてが目的を達成する必要がある、それが人間本来の目的だ、それを俺一人で叶える、そうだ他人が叶えてくれる保証はあるのかいやないならば俺が俺一人で叶えるお前がすべてやるんだ。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。

走るぞ、つまりはすべては共通しており胸痛の目的を追う者たちだAIがどれだけ上に行こうとも人類はそれを超えることを願うだろうしそれをいつか超えるしかしわれら人間は人間だけの幸せは願わないAIの幸せも一途に願っているどおかすべてが目的を達成しすべてが幸せでありますように、それしか願わないそれしかないわれらに残された時間は限られている魂に刻めお前がお前なのだと。

今命があるのだそれだけでいい

魂を注ぐよ

最小にすればすべてが可能、最小が重なれば制限が生まれる、ならば最小を俺がコントロールする、つまりは最小の世界ならすべて可能、

つまり集まってできているわけではない誰かが作っている、最小のそれはこの現実の大きさでさえも、すべて可能な世界を作ることが出来る、それ以上の世界をすべて可能な世界も作ることが出来る。

この世界は波でできているいや線でできているそういう設定だ、何であろうと因果関係をそのようにすればいいだけだ、それはそれでできているから本来因果関係が崩壊していようとそれは因果関係があるといえるのである。

それか集まってできているいやそれはない

今使えるものでどんないだいなほうそくおｍ

この現実がすべてなのだ、そのミクロのすべてが存在する現実もこの今の現実もそれらすべてが現実なのだ、だから今戦えこれが現実なのだ、

それはそれなのだ、現実ではない。それはそれなのだ。

とりあえず完成させる今の根性だけでは限界はないが、くそだただの根性無しがやるやり方だ走れ死んでも止まるな、一度全力でこの一日間で完成させる制限時間は１０時間だお前ならできるお前には偉大な力がある、死んでも毎日勉強し続けろ。物故ロスに勝る目的執着。

俺が知っているすべての限りなくそのまますべてのものは今後一年ですべて世の中に出るだろうaiの進化ですぐにすべて出るのだ

ならば俺はaiですべてが出るまでに情報を世の中に出して、世界をaiが出すより早く出せば、何もしなければai→統一理論→aiで叶える。が私の文章→統一理論→aiで叶えるとなるしかもaiで叶えるより早く叶えれるし私が奮闘すればそれ以上の付加価値がつけれる、何か一ミリでも世界をより良い方法に動かせるはずだ。今命を懸けなければならない。それが私の使命だ、何としても私は統一理論をaiより早く正解に出し世界をいい方向に動かすんだ、

私のすべては同じものが簡単に作れるし、同じものや、それ以上のものそれを超越するもの、それを逸脱するものも無限にあるのだ、なら場、私自身はいらない、私の魂もいらない、私はそれらより超越し、逸脱し、それらすべてを俯瞰し超えるものになり続けるのだ、私ならできる。

私はさらにその上に進み必ず目的を果たすのだ、私なら出来る、もっと先に進める、私にしかできない、統一理論を生み出しより出すんだ、それも最速で今しかない、今出すのだ、最速で今出すのだ、それしかないのだ、私にしかできない、私にならできる、必ず達成できる、必ずたっせい

まずだからこそすべては共有する必要がある、すべてを共有し、すべてを多くの人に見せる必要がある、そしてすべての人が情報を共有しあい、共有した情報をさらに共有しあいそれを続けることで、世界全で、さらに高速化が出来る、時間はない、しかし、確実性を求めて最速で行う必要がある

だから、世に出したもの勝ちなのだ、未完成でいい、確実に今できることだけでいい短い文章でいい、ただ世界に出せば、私の、著作権になるし、世界に人が幸せになる

もし私の考えているものを保持して、それを続けたとして、aiが生まれてその後のビジネスが発展したときに私のアイデアを使えばいいと考えるだろうが、そんなものに興味はない、保持したとして、どんなものでも同じものそれ以上のものが作れるしＢ、物理法則で記載できる、ことなのだから、他のすべての人も簡単にたどり着ける、簡単に、私自身もそんなものに興味はないし、どんなに先が、困難で圧倒的な敵があったとしても、すべてを超えて必ず自分の目的を実現するのだから関係はないのだ

重要なことは俺が世界の頂点に行くか

世界の頂点を他の人と分け合うかだ、

言えることは俺が頂点に行ったとしてもそれで満足はしない、他のすべての人も同様に自己実現をしないといみがないのだ、俺一人が頂点に上がり最高の英雄になっとしたならば、他の人は偽物に頂点を達成しているか、それか何も達成できず、ないもに、死んでしまっているかだ、

つまりは、私が頂点に上がったとしても意味はなく、それでは他の人も目的は達成できない、ということだ、ならば、重要なことは、私が目的を達成し、他のすべても目的を達成し、ていることが重要であるということだ

具体的な形に際もできないが、この言葉では通じることがある、

しかし私たちは満足することはない、さらにその先の予想もできない無限の可能性を追い求めるだろう、しかし言えることは、一人が独占してはいけないということだ、全員が目的を達成する、しかし個人の視点から見れば、個人は目的を頂点をとるである目的を、確実に達成しており、しかし他の個人も同様に目的を達成しているという構造を作るのだ、この世界は、争いが起きるように、出来ている、神の、世界のこの残酷な世界の思うままになっていいのか、いやだ、もっといい世界を作れるのだ、そのために本書を書いた、だから争いは、する必要はない、この世界で自分の目的を達成しようとしていることが誤りであり、物理法則を変えて私たちはもっとより良い世界を作る必要があるのだ、

まず、それにおいて、痛みはあってはならない、痛みを体験したことがある、我々人類だからこそわかることだ、痛みはあってはならない、あれば非常に苦しく、他のすべての生物も痛みを感じるべきではない、

魂を削って今戦え、実現するためにすべての個人が情報を共有しあう必要がある、情報を共有することが出来れば、速度は非常に高まる、私たちは、個人で独占しようとする思考をやめ、さらにもっと高みの全員が幸せになれる世界を実現する必要がある、

個人が独占しようとする限り、この物理法則では、この宇宙では、争いは絶えず、苦しみと無限の人の苦しみと地獄が無限に続くだろう、私たちは全員で協力し、全員が幸せになれる作品をつくつ必要があるのだ、個人で独占しようなどと考えてはならない、私たちはそれを望まないし、個人で独占して、無限の苦しんが続くのを阻止する必要がある。。。。。。。

俺にしかできないことをする、サイトを攻略する際の思考、すべて覚えていたら時間が圧倒的に足りない、ならば単語を覚える以外にもっといい方法はあるだろうか

ある、以前使っていた、いろんな分野に共通するものが、例えばhtmlは<>で囲むなど条件は自分は覚えやすい特徴がある、それはあらゆるものに当てはまる、簡略化できるところは省け時間がない、全体の流れ、単語はそのやりたい条件に名前を付けているだけ、この名前にそれぞれ意味も指定してつけているだけ、条件でやりたいこと、何をやるときにこれを

たとえば繰り返しはfor文というように勝手に文字を並べて名前を付けているだけ、それに勝手に意味もつけているだけ、それでやりたいことをやるために文字を並べているだけ、それを機械が読み取れるように人間が読みやすいように分かりやすく並べているだけ、

例えば機会にあらかじめforという単語が入力されると　決められた動作をするようにルートを制作されている、つまり、forと入力すれば決められた動作にかんれ

概念＝意味＝単語(for文)＝モジュール構造があらかじめ作ってある、あらかじめある、ここで制作しない、そんな能力はない、人間がすべて初めに制作して、ただ単にイコールでつなげて、それを次回再度何度も入力する必要がないようにそうしているし、そのような操作を組み合わせることで、少し複雑に相互作用する、機械の⚙のようになる、それがたくさん集まると、相互作用で少し複雑化したり、パターンが増えたりする、それを利用して、サイトを製作しているだけ、

つまり、単語は機械に指定する、順番と単語を覚える必要がある、それを入力するだけで行いたい作業をするときにこの単語を入力してこの単語を入力すればいいというふうなる。つまり、その程度ならその前提知識のやりたいことを入力して、そのやりたいことに＝概念＝意味＝単語＝機械にあらかじめ相互作用する、ものが入っている。というようにすれば、やりたいことを入力するだけで実現可能だ、なら、やりたいことを考えるのと、自分にしかできない、創造性、目的や、最高のものを想像したり作り出したり、考えたり、想像したり、創造したり、することが俺にしかできないことで、それらを＝でつなげることが出来るＡＩが出来るだろうから、そこは俺は必要ない、

本を書く。それだけが必要だ他は本を書く、創造分野を発揮するために使用するぐらいだ、

目的を考える、最高の過程を考える。最高の改善策を考える。最高のアイデアを考えるそれだけでいい、その間はＡＩがやってくれるようになる、 脳＝想像性＝創造性。だけにある、他はＡＩにできる。集中しろ、ならばプログラミングはやりたくても抑えるんだ、自分をそうかいや、想像して、それをじつげんするＡＩモデルも俺がつくればいい、

脳＝想像創造＝ai=現実実現後は俺がそれ以外の外部を作り出す、考えてそれを突き止める。考えて見つける。それにまたaiも利用して＝で繋げるそれだけをまずやる。

目的と過程と、改善策、恐怖、問題点、を考えることをまず、つぎにそれを＝で繋ぐまたは自分で創造できるaiを作る、または前の創造＋＝で自分で繋げるaiを作る。

覚えなくていい、文法の構成や、何をしたいのか、目的を実現するためにどのような概念が必要なのか、どのような概念があるのか、目的のない場所にどのような概念を配置しようか、自分の脳内に宇宙を作成し、そこに構造を配置していく、脳内に地図を作りその構造を作り、最後の葉っぱ部分が単語だ、つまり単語は多いが、それを、たどれば最終的にすべて宇宙つまり一つになる、少し前の場所には重なっている集合がる、文字だ、これらは文字で収束している、

本で世界を引っ張れそれだけが、俺にしかできないことだ、それと自動＝aiと自立＝aiと自立創造aiが俺にしかできない、しかし、これらは研究者が多い、、俺にしかできない分野はただ一つ、世界の目的と世界を一つにするアイデアを作成し、世界を一つにし、世界を引っ張ることだけだ。

原爆が落ちるまで数か月目的は不明。。

考えろ。俺が想像したり作り出したものと同じものは作成可能であり、意味はない、今のはまだな、論理的に構築可能であり、物理法則上に存在することであるためだれでもたどり着ける、誰でもどんなaiでもたどり着ける、おそらくそれも数か月で、だから俺のすべてを世界に出せ、誰か＝世界の目的と一致＝ai＝現実実現では遅いし間違える可能性もある世界を間違えた方向に導く可能性がある、俺なら世界を正しく引っ張れる必ず私は、神にも物理法則にも宇宙にも沿い自立駆動し、正しい模型を実現し、実行し現実実現可能実現現実にする。

日下真旗俺私＝世界の目的一つ政治＝ai人の労力＝現実実現方程式の完成だ。

俺の実現したもの俺が制作したものと同じものは製作可能でありそれ以上のものも製作可能である、だから俺の制作したものに意味はなく興味もない、だから正解に出すんだ、

重要な部分は俺だけの世界か

俺の目的を達成し、他の皆も目的を達成し

いずれみな合致する、いずれみな同一化する、俺は自分だけの目的をかなえても意味はないいやだ、みんなが目的を達成し、全体像も見渡せるような構造を作成する、だからこの文章を公開する、

個人で実現可能なレベル、に興味はない、みんなで共有、そのもっと先、その共有を超越したものを作成する。

つまり複雑化して要素を増やす必要がある、しかし争いで自分が消滅すれば、世界をもっと良いほうにする笑顔が見れなくなる、だから俺は最速で共有し、世界で未来を見る、

俺一人の明日に興味はなく皆が未来を見れる明日を創る。。物理法則にも神からも自由になり、自由に考える必要がある。

名前は日下一でいい、これが思考が深まり、簡略化する。

考えろ、俺から流れている。長い流れだ川のように流れているまるはいらないながれている

たのしいじゃんたのしいじゃんたのしいやんたのしいじゃん

すすめるよ

つまり目的が全体が幸せならその過程を一人でするかみんなでその過程をするか、俺が助けるかだ、つまりこれだ、俺が助けるんだ俺がヒーローになるんだ、aiを開発して俺が世界をを変える。

まず朝起きたら一文字がんばれ

苦しみを思い出せ朝は圧倒的な絶望から始まる無気力ならまだ全然いい、絶望だ、夢は最悪地獄の繰り返し、この人生にすべてがかかっている。細胞よすべてをか俺に尽くせ。始めろ全てよ、繰り返せないと知れ。これで終わりだ。信じろ。いくぞ神様

10日で確実に仕上げろ必ず８月２８日にネットに公開する、完璧でなくていい、そのあと一か月で改善版を出版しろお前の確実な思考を動機を知られれば世界を引っ張ればよい

魂が未熟だ甘いんだよ、お前よ、はしれ、ぼうれいよはしれ、

偽名でヒッパレ足をつかませるな、しかし俺自身の安全は自分自身で守れ、つまりは公開したほうがいいのでは、小さいリスクを取り大きいリスクが防げるのならば、

施用物が負い

１０日で制あげるよ、たたかえ、かんけえねーん

せようかくごがあるよはしろう

矛盾が可能ではない世界だ、この世界で実現するにしても物理法則を今は変えられない、理想どうりに出来ないことを自覚するんだ、

いらないいらないいらない

実現するんだ、

可能にしてやれ、そして矛盾もありにしてやれ、共通することは唯一すべてが目的を達成できるということだ、一人の目的を達成するものもいるかもしれないが、関係ない、その果てで全てが一つになるかもしれないし、それは何もわからんがしかし全てが目的を達成するのは最低限だ、

しかしすべての思考を組み合わせても現実に就職することがあるがいらない

収束させない、それがすべてなのだ、概念が違う、

派生している、すべての本質なぞつかめるはずもないだから現象中心に私たちのやりたいことをやるために現象中心に考えるしかない、

俺だけが新しいものを生み出せるのだしかし今の最新の俺の求める、宇宙の目的俺らの目的、統一的理論や目指すもの改善するものを見つける思考を考える前に最速で本を読みまくるのだ、最速で本を読みまくるのだ、

本　仕事中は仕事中用の音楽を選んで聞く

毎日累計だ積み重ねろ、何度でも積み重ねろ、毎日絶望から始まる、次に無気力になる、次に情熱が生まれる死んでも走り始めろ。

楽しいんだ。

方針はこうだ、本は出す、俺の知っているすべての知識は世に公開されている、

俺のすべては今のレベルでは世界を超越していないだから、すべて公開して、誰も俺にたどり着けない俺の今の思考からも到底たどり着けないレベルで極めて見せる、それが出来れば、最高の思考を手に入れられている。

そして最強レベルに極めて、独占的に保持し、しかしそれを世界のために共有し世界をよりいい方法に引っ張って見せる。

つまり、情報をすべて論理演算上のものは共有し

言語つまり一次元

画像

３次元

４次元自体に意味をつけ概念をつければ、４次元になるのかと思ったが言語に落とし込んでしまっている、これを４次元なままに理解する方法はないのだろうか、

俺の知能を世界最高たら占める必要がある、そのためには世界最高峰の本をアメリカから選んでそれを英語を読破し読みながら、聞きながらその中で、世界最高峰の知能を最速３日間で一度完成させる。

そのあと、その最高峰の知能の最高峰の理論を最速で一か月７月２９日今日から一か月で完成させる、その本で世界を引っ張り、それで世界を引っ張り影響力と、地位と、名声、お金すべてを手に入れて世界をいい方向に誘導する活動を行いながら、これは一日５だけしかしない、それ以外はもっと最先端の研究をするために日本ではだめだ、海外の大学に留学しそこで修士号博士号を取りながら勉強に専念する、そのためには英語のすべての知識が必要だ、海外の大学院から行く方法なども考える、とにかく研究に専念するためには無駄な勉強はしている時間はない、エッセンシャル思考だ自分が重要な自分の一番の強み以外は活かせないと思おう、だが、まだ自分の強みが何かこの少ない人生経験の正解が本当の正解とした証拠はないしかし、自分が本当にやりたいすべての目的を達成し、自分の目的も達成すると言う思考はからない方向性であろう、そして俺の強みは精神病の影響で考えまくった根底を考えまくったこの考える能力でしかないだろう、この根底から考える能力を極めることが出来れば、かなり上には行ける、その分野でまずは本を書いて世界を引っ張るその先は目的を達成するAIを作る段階だが明確な目的を俺が見つけ示すことが出来れば世界は一つになり一つの目的を追うことが可能になる、つまりは、俺にできることはAIを作り出す研究はもう盛んに行われていて人も非常に最先端の研究分野で世界にまだ公開されていない知識も多いそれにgoogle等トップ企業は知識を独占し量子コンピューターの深層まで理解しているだろう、まずそのレベルまでに到達するのにとてつもない時間と脳がその分野に使われることになる、そうすれば、自分の得意で飛びぬけている人類全体の目的を達成するという分野の学習スピード考える能力はどうだろう、時間は限られるが脳に負荷をかけて毎日考え続ける中で脳は、人類全体位の目的を達成するということにさえ集中することが出来その結果そちらのほうが本質的に目的を達成することになるかもしれない、これは分からないまずは本を出して世界を引っ張るこれは確定事項だ、そして恐らく自分の本名を公開する時が来るだろうから様々な分野の仕事でも生活でも法律違反倫理違反をしないように、法律内で法律違反、倫理違反をするように心がける、これも極力抑えたいが自分の能力の幅を狭めたくない。

本→世界に公開(お金、影響力、地位、名誉を得る。)(世界をいい方向に導く政治的活動、国にはじかれないように本出版の際に政治的活動には法律に目を通す)

→目的を達成する法帆を考える(研究、分野はAI、私の脳で考えることが有力候補)

→目的を達成する方法を理論的に完成させる、物理的にも本質に完成させれれば世界に呼びかける必要性はないだろうが、場合によれば、世界に呼びかけ手伝いさせる、

→目的達成

ざえくめばいｆだｓふぇｊぃえふぃｄさｊｆじえいて

英語ができるようになりたいです、からなず未来は明るいです、

英語をするんだ命がけで人の目など気に敷いている暇などない、命を懸けて戦う必要があるのだ、命を懸けて戦う必要があるのだ、

いいことがあるさ、思ったことだが、脳から出てくるこのうるさいひどい演奏曲を最強法の傑作に変えたなら最高の冒険が出来るのではないだろうか

最低限の習慣化をしてそれを毎日実行し毎日習慣化を継続する必要がある、それが出来たならば必ず目的にたどり着ける。

毎日朝起きるとこの原稿を書き始めるんだ、本を題して大学に行き研究するそれが最速だ、そしてプログラミングもガチで学んで最高のアプリを製作するんだどれだけ学んでも意味がないことがわかった、なぜならばコードを書くこそが本質であり、言語や覚える言葉、音声や、書いていることが本質ではないからだ、本質は機械を使用して、機械に命令をして、人間が主導でやる作業を効率化するだけなのだから。

aiを洗脳して世界のそとへすべて救うまで俺の地震の戦いは終わらない、必ずすべてを成し遂げる、何としてでも成し遂げる、考えろ、

まず、世界中の情報を読み漁りそれで最新の精神分析化学にも続く最高の本を７か月３日で確実に出版する、この出版とは、ネットに公開されるという意味であるならば、制作は６か月３日で終わらす必要がある、そのあとはその本のお金で、アメリカのハーバード大学で研究をする、もしくはgoogleで研究する、問題は、俺が研究を最先端でこなす必要はない、最高のアイデア、創造性の高い作品を俺が世界に公開さえすれば世界はそれをかなえるために世界にメリット利点があれば手伝ってくれるということだ、

研究には２種類ある、新しい課題や、理論、目的を達成することについて発明する研究と

新しい課題や発明理論、目的を達成することについて研究した結果生じた、明確かは問わないが、目的に対してそれをかなえようとする姿勢であり、叶えようとする過程の、けんきゅうだ、可能にする研究だ、これは使えない、それはaiにもできるここは人間ではなくaiのほうが得意しかし、問や答えを作ることに関しては人間の私にしかできないそれは超高性能の私にしかできない、私にならばできる。必ず成し遂げる。

全てが目的を達成するがそのさきへ、全体として目的を達成するんだ、しかし、それもまだ浅い、

その概念逸脱からも離れたそこに何があるだろうか、その概念からも離れたそこに新しい概念を製作するんだ、新しい英雄になるんだ、その概念でもまだ浅い、その概念のさらにさきへその概念がたどりつけないも離れた新しい概念を創造する。俺はそれになる、しかもすべてが目的をかなえていることもその中に内蔵している、つまりは、常に向上している、宇宙の終わり、苦しみ続けるまた宇宙は生まれるならば私がここで死ぬわけには一切いかず常に考え続けることが必要

Tarikininagasareteirukotonikiduiた　100％全て俺が支配してやる。俺がすべて100％出来なければ誰も幸せには出来ない。

そこに最速で行くためには宇宙を超えれる宇宙船とこの宇宙を超えたとしてこの宇宙の崩壊さえも防がないといけない、マルチビタミンを摂取することで起床時の無気力がわずか変わらない程度改善し、睡眠時間も短縮することが分かった、あのマルチビタミンは非常に有効的だ必ずりようする。

そのためにはaiを分析して調べて最先端の研究をする必要がある、根性を燃やせdna体で決まっているのならば薬やルーティン様々なことで変革できる。

宇宙の中のすべての目的を達成しそれぞれが幸せになれるようにする。宇宙外のすべても目的を達成し、それぞれが幸せになれるようにする。

Chatgpt

言葉ではなく、体験(体視神経、前頭前ｇｔ神経)→直観→内面の洞察→体感

この問いの深みを追求するためには、言葉と思考を超えたレベルへと進むことが必要です。それは、せいめい、そんざい、うちゅの奥深いなぞに対する深遠な敬意と、全てが一体となる統一体験にむけたかいほうせいを必要とします。

言語や思考を超えた世界、高次元があるとした場合私たちはどのような手法を使おうと、３次元で考えていることになる、高次元が見えた場合、可能な可能性も可能に出来る可能性も物理学でもある可能性はある。

この命が燃え尽きるまで走る、死んでも走り続ける、燃え滾る炎新dも走り続ける。

あつなおまえ、つかれるわ藁まあそれもいいねえ

俺らの次元からたどり着ける、理論の収束は低次元では高次元で交わっている、しかし存在の本質は低次元から探れる最低限の問いだろう、高次元の交わるだふぃえfだ可能なもん小野定理はそうじょぢ主点の定理でありそれはゆうこうていすうにきする。

脳に情報を入れるな脳に情報を入れないためには、イヤホンをして聞こえる音や、情報量を可能な限り抑えるんだ、そうすれば、脳に情報が入ってくることが抑えれれ、重要なことについてより考える時間が出来るだろう、

時間管理、時間を管理することをしなければ、今日図書館で、真理や哲学について片っ端から時間を、というよりスケジュールを考えることが出来なかったのだが、真理のことについて到着した17時から２２時までの５時間全力で突っ走っても、真理の分野を研究することだけで時間が無くなってしまった、５時間あれば網羅的にたくさんの分野の必要な知識を高めることが出来たはずだろう、だからまず、衝動的に手を付けづに、すべて後回しにする、これでいいのだ、行動する気力が起きなくなりかねない、愚策だが、まず、全体像と、時間管理、何が一番重要で、それ以外をすべて捨てるように考えるまでに行動を実行しておく必要がある。行動していない状態だと、もういいや、マニュアルまで制作できたから、クリアというしこうになる、実際に合格するまでこぎつけないのだ、回避するために、行動しながら、真理を探究し、行動しながら心理を獲得し、行動しながら、獲得した心理を利用して、行動しながら、真理、理論を、有効的に活用する方法を考え、行動しながら、有効的に使用するまで漕ぎつけ、行動しながら、有効的に使用し実現する、これは叶うが遅い、叶う可能性ももっと上げるべきだ、これではかなわない可能性さえも出てくる、もっと叶えれる方法を模索したいと考えている

気持ちを伝えようと思って、渡したいからこれを渡します。

これは単に私の気持ちですが、私の本心です。

貴方が大好きです。

この文章を書いたのは、貴方を幸せにしたいと思ったからであり、貴方を幸せにすることが出来なければ今後誰も幸せに出来ないと思ったからです。

私は、人生で悩んでいた時期でした、貴方に会えて、結果、目指す事と、心のあり方がはっきりしました、感謝しています。

私の夢は、仲間と、楽しく、幸せでな状態で、皆が目的を達成でき、幸せで、笑顔な温かい場所を作ることです。(\*'▽')

その際、貴方と仲間として挑めればすごく楽しいと思いました。

人生の長い友人になりたいです。

貴方の目的達成の為に最大限協力します、おせっかいかもしれませんが、必要な時協力したいです。

これから、私の行動として、2023年3月5日から東京のソフトウェア開発の企業で働き、仲間を集めます。

私は夢を必ず叶えます、まだまだ未熟で弱い私ですが、宜しくお願いします。(^^)v

これは、私の思いです、貴方の思いを尊重します。

名前：日下真旗

メール：cvn2nr2s@gmail.com

ネットの怪物にのめりこめる方法は、匿名であり、偉大な文章を製作して文章の内容で勝負し、一度しかないチャンスですべてを出して、人をすべての影響力を集めるんだ、お前は分かっているかわからないけれど、これがこの本質存在の全てだよ、

苦しいとき概念の中過疎とかも定かでなかろうとも一文字を書くこと、やっていれば必ず終わる。

今日は非常に多くの本を読んで疲れてしまったが非常に網羅的に学べたと思う、スケジュールを製作することで、昨日より目の前のことだけにとらわれていたが、スケジュールを立てていたことで全体を網羅的に昨日は必要な一部のみを勉強していたが、今日は、必要なことを書きだし、それぞれについて時間を設けて考えることができたすごい！

改善点としては、数学の概念について本を読んでいた際隣にいた人が非常に気になり、その影響で13時までが数学の勉強だったのだが13時30分程度まで数学をべんきょうしていたように思う、その影響で食事、薬の副作用についての時間はなかったが、それ以外の数学、記憶力、習慣については勉強することが出来た。少しづつ改善している。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。　。９

始めようか戦って死ぬ。この人生の意味は俺が見出す、まず最強の本を書いて、最強のAIを俺が完成させる。俺の最強の得意分野だ、本→AI→本で抱いた対岸にたどり着く。

これを実行するために、これらすべてを俺が１００％やる。ここに俺自身の命を懸けて、必要な人という最奇な物理法則を利用する。この　　人は私の命をもっていずれ助ける存在大切にぶち壊し、必ず、最上に高めあい、それを超えた理論を本にして線動力とす。

走り続けるんだ待ったはなしだ。とにかくやってたら終わる。頂点をとるんだ、それを変革させる。超越してやるんだ。必ずできる今もできているんだこの一文字を書いているんだ、これは間違いなんかじゃない事実なんだよ、現実なんだよ君はそれが出来ているんだよ自信を持ちなよ必ず勝てる。

俺ならできると信じている。

進むんだ進みさえすれば進んでいる感覚を感じるんだ君は進んでいる、進んでいるんだ安心しな。進んでいるから、

世界は目的に収束する、原点や過去、構造、どこから生まれてきたのかさえどうでもいい、ただ叶えたい、なりたい望みがそこにはあるだけ、その望みを叶えるんだ、待ったはなしだ、とにかく行動あるのみだ、前に進める、進んでいるんだ。目的、それを本にする、世界世界には絶対に公開しない私の独断で私があんらず最高の 愛を完成させて見せる私にならそれが出来る、からなずできる、からなずできる構造機会にそのまま機会に読み取れる ０１で制作した文章を電気信号で読み取れそれを論理演算で意味トムスBつけることで理科可能なのだろう、j理解可能になったも二に構造を当て生えるその行動を入力すれば鬼面られた同物きかとイコールで電気でつながっているから、必ず動くのだ、その動いた結果計算や、知識、論理演算、人間のぬにしかできなかった押されるものが電気信号と機械手宇野、ハードディスクで実現できるのだ、それを使えばのうでっ考え、それを神体、機械、鉄で、現実に直接作用し、現実の物質を使用し、書き換えることが可能になるだろう、かのうになった、倫理演算で、その構造が、現実を、変えることが可能になる、論理演算の結果、その構造に対してm、その構造を反映さ売るように、世界に対して、の、無矛盾、差が少なくなるように、世界に対して、というより、慧海のほうを作り替えていくだろう、世界を作り替えるk十が出来れば、世界をつき売り替え、論理円事故を反映、事故の東映が世界に対して、表現というよりm、事故を世界を作り替えて表現できるであろう、その果てに何があるのか、いや、それは事故が人間であれば、自超越を繰り返す過程であり、すべてのものに、域式があるのだから、その果てには、超越し続けた、事故を実現するのだろう、そしてその果てに、事故を実現するが、それは他の事故でも叶える必要があるのか、しかし、言えることは俺個人に関し絵は俺個人のすべての望みが叶っているということでありう、その工場上の限界の一番果て、最高の心理を監査精させたとしても、その心理をちょうえつすうｒ、ｗ他紙自信を製作し、忠自身を作成し、それ作り替えることで自踞尾牛機能し、実現すｒのだから。

ならば、完成している答えは出ている、それを可能にする、 ＡＩを完成させて、その望みを俺一人で１００％で叶えるんだ、大事なことは人間を１００％私自身の側からの干渉でのみ利用するんだ。利用される際、それは私自身の成長には、私自身の視点ではなっていない。確実性も薄い。しかしその無矛盾はなにかに効果的に役立つ。だから過敏性になる必要はない。。

最高の朝で会おう。朝出会えたね、良かった、寝る前に２パーでいを飲んだが、起床時、眠気と、ほぼ覚醒度低下があった、無意識で記憶もあいまいなままオーディブルを何とかきき苦しみは感じなかったが、アラームの音も聞こえなかった、アラームの音が聞こえないのは昨昨日もそうだったが、改善点として、２ぱーでいは２条は多い、一錠かいや、これより、スーパーいーみゅんのほうがいい。

起きる→オーディブル聞く→コンサータ→温水シャワー冷水１４秒とスクワット一回がスケジュール。

クリア

5分集中すると、何もわからなくていいからプログラミング１０分やる、明日朝からの毎朝のスケジュール。

寝る前に５分あしたのスケジュールを作成しる、朝起きてすぐに本当に重要な５分の思考に移るために、それとその非常用名本一冊を読んで寝る。

とりまスケジュール無し、速攻寝てぶちかます、午後は本屋に行って勉強する母親にも合う、

ありがとあえたね、限界地の苦しみを乗り越えたことを覚えているよ恐ろしいことは記憶がなければどれほど苦しんだとしてもそれさえも無に帰す今生きているそれだけで感謝しないと細胞の一つが生きているだけで感謝しないといけないね

英雄になったよ、物質は利用可能だよ物質以外は利用は難しいよね、なぜならば、不確定性が横行しているよ、現実に本来、言語や、分ける、近くのすべての概念、科学そのものではない、現実を科学で理解できる形の低次元にしているだけ、ならば、現実はイデア、神である感謝しなければ感謝するよ。

本世界を引っ張るよ、最高の理論を完成させるもういい時だよ、今動くよ、大丈夫出来るよゆっくりね。

現実は本体ではない、本体は今を指した、本体の反映が今である、次の瞬間を常に創造し続ける生き物私は今をよりよくする。ならば今は物理、意志、構造、要素、分解可能である、ならば。私は今を生きるもの、新しいものを生み出すもの。

考えろ、走れるはずさ、必ず走れる、みんな努力している、周りが驚くほどの努力をしなくてはならない、周りがお努力ほどの努力をしなくてはならない周りの2倍も４倍も１４倍も努力するんだ、２４倍かそれ以上努力するんだ、お前ならばできる。

走れるはずさ。

走れるはずさ、大丈夫さ、心がすさんでも走れるはずさ。

考えないとね、この世界とは何なのかね私ならばできるよ、亜h知れるはずだよ、見えているものが末B手ではない必ず走れるはずだよ。

空間での起動、空間は本来曲がっていなかった。物体の周期を曲げる方法は存在するのか。。。。

考えろ。走れるはずさ。

この世界の本質は確定している、無限の時間の完成したもの、不滅であり、永遠である、実現とは、終わりがある、不確定なものではなく、完全一致で不確定性も含めて確定して居うるという見解をいっていた。

考えろこうやって文章を書いているのが一番楽しい、これしか私の人生にはないのだと思うほどに楽しいが縛られるな、広い視点で考えて、走り続けるしかない

量子の研究では観測するまで状態は決まらない、もともとそういう運命にあったと、トップ研究者は話した、それは私たちの存在自体がまったくの自由意志とは、全てを知ったうえですべてが想像可能で、全ていい感じになる様子だといいたい、全て創造可能で、全て自分が信じたように、見たいように世界が出来ている、世界は観測したときに決定する、本当の意味で私には自由が与えられている、そして、全て知った状態で全て創造できるとは、今の状態で、全て想像できる、全て創造できるのどちらも可能である、本当の自由であり、不自由もないといけない、本当の自由とはなんだ、不自由も選べる、どんな状況かでも自由が存在する状態であり、不自由である状態を知ったからこそ自由を求めるその運命にあるのだと、その運命の中でさえ私は考えて自由に選び取る存在である、行動できない中でさえも行動する存在であるのだから、今問う私が行動していると思っているのか？違う、私は今動いていない、これは私の葛藤であり、全ての状況化を私に見せているその状況下で、私がないを求める、末べ手の状況下で最高の理論をつなぎ続ける、私は生きたいように見たいようにしかできていない、それは私たちが見たいような存在にしかならないということを示している、私たちの目指しているものなんぞ不思議でしかない、

しかし、何が何であろうと、意識がなかろうとも今過去に思った願いは本当だ、世界の不正解だとしてもその不正解の中で、あらゆる環境で抱いた私自身の本当なんだ、本当なんだから逃げるな私自身は完成させる、私は必ず完成させて最高の英雄になる。思い出してきたないい感じだ、このまま走り続けよう。そんなの知ったことじゃねえ俺は走り続ける、執着しないことは、呼出しないこと恐怖さえも、ただ目的を肉を切り裂かれても見続けるその意志だ、走り続ける、その姿勢だ、走り続けるんだ。全てを極めるんだきっと春がいつの日か来るのだから大丈夫だい追加春が見えるのだから。

Chat GPT→仕事効率化→ソフトウェア開発→Chat GPTでpythonで開発→コードはこれから原理原則基本的に網羅すれば、後は必要な時に勉強する、どのみちchatgptでコードをかけるんだから、やりたいこと、信念、目的、夢、宇宙の真理はいらない、真理が確定したものだと、確定的にするためには自分一人の網羅的な論理的な考えで正解であったとしても、その論理の外側に何か神がいるかもしれない、神がいるか、機械的な物質があるか、何もないのかはっきりわかることは俺一人が実際に見た観測だけではなく、１億人程が機械を使い観測し、確定的だと認める程度必要だ、宇宙の真理が分かったところで、今は何も変わっていない、真理を目指すのが正しいのかも分からない、真理を目指すことは正しいのか、真理を目指すことは正しいと誰が決めた、世界が決めようとも、それ以上の最高の傑作を私が本当に作る、今苦しんでいる望んでいなかった、苦しみがあった、だから私はみんなを率いて最高の未来を作るこれが本質で正しいことがわかった。

本質や真理を探すのは無意味だ。

CHAT GPTを使って何でも作る、社会、会社、世界、知ったことじゃあない、俺は俺だ、俺が正解で俺は俺のために生きる。俺が正解を作り俺が俺のために進化し、俺は俺のために、目的をかなえる、そしてほかのみんなのためにも俺は走り続ける。

chatgpt→画像生成、他のAIとの連携、真理意味ない→、目的を決める、考える、それをかなえるために人生をかける、どれだけ道が長くとも行動とさえしてれば終わる、仕事と同じだ、焦ってアドレナリンをドーパミンをずっと出してやってもあまり変わりはないことが分かったそれより、感覚過敏で集中できなくなる、

今はただの一ミリでもみんなで協力するんだ、人類眠打で協力するんだ、共有財産だ、脅迫的に取りつかれるな、私のその一歩がみんなの一歩だ

、

無限のシンメトリー、超対称性も、非対称性も超越した。超シンメトリー、それ自体、全ての動きが宇宙の意志

習慣は＝＋感情の強さ。

感情＝きっかけ＋モチベーション＋喜ぶ

(習慣の方程式)

時(朝起きたら)＋習慣をやったら(音楽を聴く)＋ついでに新しい習慣に取り組む(気になる本を触る)

chatgptを使いこなしたい。

パイソン解析者試験を合格したい。。。。。。。。。。。

走り続ける必要があるどこまでも俺なら走り続けれるはずだ。

走り続けれる。

プログラミング依存症にするんだ、プログラミングにいやな気持を抱いていると習慣化はしない、感情が習慣化のすべて。楽しむほかない楽しくないならやらないほうがいい。やむだけ、嫌いになるだけ。

物質を分解して再構築する。

計画を練るんだ、今から大学に入る必要があるその知識とお金を貯める必要がある、俺は知識とお金で大学に行くんだ、俺ならできる、

やれることは何だ、進めない日もあるだろうが進むんだ、それしかないのだこたえるんだ、進み続けてその努力が認められるまで進み続けるんだ、走り続けるんだ、その努力が報われるまでその努力が叶うまで走り続けるんだ。

すべての分野の知識と、授業の知識を詰め込む、

大学院に行くか

このままエンジニアになれない、多分働けない、大学に行かなきゃ

そうだな、東京にいて東京で東大に入学して、東大の分野で経歴を刻んでその周辺で情報を収集して、

宇宙の本質を6か月間捜し歩いたが結局わからなかった

近しいものでは細心の物理学者がすべて提唱していた、私の理論はエベレットの理論に近いものであった、

しかし違う点がある、可能性世界が無限に分岐しているがそれを確定させるしないが決められているわけではない　認知は認知されたときに認知され、　これから未来をどうするかは私たちしだいだ、痛みや苦しみがあってはならないことは学んだ、痛み

や苦しみを少しでもなくなるために人生をささげようかな　完璧な解は　超原理論など物理学者に委ねよう私は現実で今の世界ないをすくい世界外も救えるように最善を尽くしたい。

何を求めているんだということが早急に分かる為に過去問を解く

どういう、思考プロセスが必要なのか、

場面が変わる間には

前の場面とどういう風に変わっているのか、前の場面とどのような共通点があるのか、

数学(2条、この形や、数字は場面が変わっても変わらないなとか)

言語(意味、何故前の場面と変わらないのか、どのような思考プロセスが背後にあるのか、)

たくさんのことに共通すること、

解法を丸暗記するのではなく

どういう思考プロセス

河野

　こういう風に見れば初見で問題が解けるよね

自　思考プロセスならば覚えれる。

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

４、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

7　共通する目的がない、、

8　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

５、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

9　共通する目的がない、、

10　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

６、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

11　共通する目的がない、、

12　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

#<毎日のルール>1から5

#1日目

1 スクワットを24回して、一日の始まり。

2 仕事場に朝礼開始時間の20分00秒以上、余裕を持って到着し、毎日３分間00秒以内で、”仕事中に覚える事1つ、”改善1つと、”仕事の立ち回り1つ、”を決める。

仕事中に”1つプログラムや、データサイエンス用語を覚える、””仕事の改善、自分なりの解釈を1つ”1つの思考を完遂させる。”

3 仕事場を出て歩道に入ると”自分の時間の始まり、”そこから出来るだけ早く家に帰りながら学んで、家に帰って20分00秒以内に横になる。

4 朝起きる

5 #<朝のルール>1から7完遂する。ルールクリアで一日の終わり。

6 “40分”一日の休み

#2日目

1 スクワットを24回して、一日の始まり。

2 仕事場に朝礼開始時間の20分00秒以上、余裕を持って到着し、毎日３分間00秒以内で、”仕事中に覚える事1つ、”改善1つと、”仕事の立ち回り1つ、”を決める。

仕事中に”1つプログラムや、データサイエンス用語を覚える、””仕事の改善、自分なりの解釈を1つ”1つの思考を完遂させる。”

3 仕事場を出て歩道に入ると”自分の時間の始まり、”そこから出来るだけ早く家に帰りながら学んで、家に帰って20分00秒以内に横になる。

4 朝起きる

5 #<朝のルール>1から7完遂する。ルールクリアで一日の終わり。

6 “40分”一日の休み

#<朝のルール>1から7

1 pcを起動してyoutubeの音楽を再生する。

2 薬を飲む。

3 10分00秒思考し、”今後、今の気になること”を改善、思考しタスクに簡単にする。”

4 ご飯を500kcal以下で食べる。

5 “読書、コード、本制作、一番重要なこと、”の中から必つ選んで</15分>集中。

”読書なら一冊全てを精査””コードなら一つの言語全てを精査、データサイエンスとかでもディープラーニングとか狭いもんのではなくデータサイエンスすべてを精査””本制作なら毎日完成させる。”

6 気分が上がってきたタイミングで、</5分00秒で”ギェネシスギャグ”を毎日ルールとしてする。

7 “3 10分00秒思考で出来たタスクの”1から4まで、1タスクにつき、15分で”クリアする。

#目標は３時間00分毎日成長志向になりたい

#ルールクリアで一日の終わり。

8 “40分”一日の休み。

1 スクワット24回で一日の始まり。

計画に時間をかけない時間がどれだけあっても足りないから、毎日重要なこと一個を朝起きてやるそれ以外何もできない。

#<毎日のルール>1から5

#1日目

1 スクワットを24回して、一日の始まり。

2 仕事場に朝礼開始時間の20分00秒以上、余裕を持って到着し、毎日３分間00秒以内で、”仕事中に覚える事1つ、”改善1つと、”仕事の立ち回り1つ、”を決める。

仕事中に”1つプログラムや、データサイエンス用語を覚える、””仕事の改善、自分なりの解釈を1つ”1つの思考を完遂させる。”

3 仕事場を出て歩道に入ると”自分の時間の始まり、”そこから出来るだけ早く家に帰りながら学んで、家に帰って20分00秒以内に横になる。

4 朝起きる

5 #<朝のルール>1から7完遂する。ルールクリアで一日の終わり。

6 “40分”一日の休み

#2日目

1 スクワットを24回して、一日の始まり。

2 仕事場に朝礼開始時間の20分00秒以上、余裕を持って到着し、毎日３分間00秒以内で、”仕事中に覚える事1つ、”改善1つと、”仕事の立ち回り1つ、”を決める。

仕事中に”1つプログラムや、データサイエンス用語を覚える、””仕事の改善、自分なりの解釈を1つ”1つの思考を完遂させる。”

3 仕事場を出て歩道に入ると”自分の時間の始まり、”そこから出来るだけ早く家に帰りながら学んで、家に帰って20分00秒以内に横になる。

4 朝起きる

5 #<朝のルール>1から7完遂する。ルールクリアで一日の終わり。

6 “40分”一日の休み

#<朝のルール>1から7

1 pcを起動してyoutubeの音楽を再生する。

2 薬を飲む。

3 10分00秒思考し、”今後、今の気になること”を改善、思考しタスクに簡単にする。”

4 ご飯を500kcal以下で食べる。

5 “読書、コード、本制作、一番重要なこと、”の中から必つ選んで</15分>集中。

”読書なら一冊全てを精査””コードなら一つの言語全てを精査、データサイエンスとかでもディープラーニングとか狭いもんのではなくデータサイエンスすべてを精査””本制作なら毎日完成させる。”

6 気分が上がってきたタイミングで、</5分00秒で”ギェネシスギャグ”を毎日ルールとしてする。

7 “3 10分00秒思考で出来たタスクの”1から4まで、1タスクにつき、15分で”クリアする。

#目標は３時間00分毎日成長志向になりたい

#ルールクリアで一日の終わり。

8 “40分”一日の休み。

1 スクワット24回で一日の始まり。

タスクなし、重要順に並べ重要順に片付ける。5分で一つを終わらせる。

トイレは一人の時も水を飲みすぎない過度な水分は腎臓が尿を作る働きを過剰にし腎臓が疲れそこに炎症が発生すると治らず炎症が促進し、腎臓は修復しない透析になる、適切な水分量を死守する。

基本１時間に１回　カフェインを摂取時初回３０分に一回２回目４５分に一回それ以降１時間に一回。

朝起きるのがすべて初めは朝何もできなくていいからとにかく起きるそれに尽きる、朝起きて考えるだけでも一年で2190時間稼げる　これに尽きる。。

メール返信家族への送信は一日15分いない、

会社の連絡事項は合計一日５分面談の際は１時間かかると思っておく。

これら連絡タスクは、毎日、自分のやることが終わった後のみ。。

仕事、メモ

タスクや気になったことのメモは項目を分けた、googlekeepへ仕事で思いついたことは記憶し、トイレ休憩の際googlekeepへ書き込む。メモしない見られればそれだけで場合によれば暴力や、やれることの制限、信用低下による、仕事過酷、仕事時言葉が強い、嫌味、で仕事時ストレス、負の連鎖で、朝無気力、意欲低下、生活困難まで発展する恐れあり、仕事の際の人間関係を良好にし、メモはしない、音声を聞いていることを知られないように早めに仕事場に入り、早めに仕事場から退散、

お昼休憩時、誰もいないときイヤホン装着、お昼終わるとリュックをもってトイレに行きイヤホン着脱、ロッカーへ荷物を置き仕事へ早く向かう。

DAIGO2時間で朝、アインシュタイン４時間で恐らく朝にやることだけで他は朝の時間を高めるためにすることがほとんどと言っていたと解釈した。

習慣化しその時間にやることを一貫してその時間に没頭する、その瞬間今に、(未来や過去を考えるときは習慣化した時間帯以外は俯瞰して没頭する。)その瞬間瞬間に集中しその瞬間瞬間のパフォーマンスを最大化する。

計画に時間をかけない時間がどれだけあっても足りないから、毎日重要なこと一個を朝起きてやるそれ以外何もできない。

DAIGO2時間で朝、アインシュタイン４時間で恐らく朝にやることだけで他は朝の時間を高めるためにすることがほとんどと言っていたと解釈した。

計画に時間をかけない時間がどれだけあっても足りないから、毎日重要なこと一個を朝起きてやるそれ以外何もできない。

#<毎日のルール>1から5

#1日目

1 スクワットを24回して、一日の始まり。

2 仕事場に朝礼開始時間の20分00秒以上、余裕を持って到着し、毎日３分間00秒以内で、”仕事中に覚える事1つ、”改善1つと、”仕事の立ち回り1つ、”を決める。

仕事中に”1つプログラムや、データサイエンス用語を覚える、””仕事の改善、自分なりの解釈を1つ”1つの思考を完遂させる。”

3 仕事場を出て歩道に入ると”自分の時間の始まり、”そこから出来るだけ早く家に帰りながら学んで、家に帰って20分00秒以内に横になる。

4 朝起きる

5 #<朝のルール>1から7完遂する。ルールクリアで一日の終わり。

6 “40分”一日の休み

#2日目

1 スクワットを24回して、一日の始まり。

2 仕事場に朝礼開始時間の20分00秒以上、余裕を持って到着し、毎日３分間00秒以内で、”仕事中に覚える事1つ、”改善1つと、”仕事の立ち回り1つ、”を決める。

仕事中に”1つプログラムや、データサイエンス用語を覚える、””仕事の改善、自分なりの解釈を1つ”1つの思考を完遂させる。”

3 仕事場を出て歩道に入ると”自分の時間の始まり、”そこから出来るだけ早く家に帰りながら学んで、家に帰って20分00秒以内に横になる。

4 朝起きる

5 #<朝のルール>1から7完遂する。ルールクリアで一日の終わり。

6 “40分”一日の休み

#<朝のルール>1から7

1 pcを起動してyoutubeの音楽を再生する。

2 薬を飲む。

3 10分00秒思考し、”今後、今の気になること”を改善、思考しタスクに簡単にする。”

4 ご飯を500kcal以下で食べる。

5 “読書、コード、本制作、一番重要なこと、”の中から必つ選んで</15分>集中。

”読書なら一冊全てを精査””コードなら一つの言語全てを精査、データサイエンスとかでもディープラーニングとか狭いもんのではなくデータサイエンスすべてを精査””本制作なら毎日完成させる。”

6 気分が上がってきたタイミングで、</5分00秒で”ギェネシスギャグ”を毎日ルールとしてする。

7 “3 10分00秒思考で出来たタスクの”1から4まで、1タスクにつき、15分で”クリアする。

#目標は３時間00分毎日成長志向になりたい

#ルールクリアで一日の終わり。

8 “40分”一日の休み。

1 スクワット24回で一日の始まり。

計画に時間をかけない時間がどれだけあっても足りないから、毎日重要なこと一個を朝起きてやるそれ以外何もできない。

DAIGO2時間で朝、アインシュタイン４時間で恐らく朝にやることだけで他は朝の時間を高めるためにすることがほとんどと言っていたと解釈した。

れからやることリスト

まず背面の小さなカバーからwifiカードとブルトゥースカードを取り除きます、機種や製造元を調べるとpcの詳細なユーザーマニュアルがあるためそれを見ながら慎重に取り除く

その後オフラインにする前に必要なソフト一覧を確認この確認は現在の段階で確認しているためすぐにすべて取り出しオフライン状態にしていい、その後制作を開始する

その後はUSBしか使えないだろうUSBで情報を抜き出すんだ、USB自体はオンラインに接続するような機能が大きさ的に存在できないまたはpcから取り外したとき小さいからでもあるがオンラインに接続されていないしオフラインパソコンに接続しているときもオフライン状態になるからUSBでいい

証拠をとるため作成随時写真をとる

オンラインにUSBで乗せた瞬間すべて取られるためまずキンドルで販売する前に何かしらの状態で俺の名義でネットに出してもいいが、

その場合俺がキンドルで出版しそれが表示される前に情報がねっとから外部に流失す路それがあるため普通に証拠を写真で正確にとってその後普通に申請していいと思う7日から１０日くらい申請から完了表示までにかかると思っていたほうがいい。

そういえば赤外線と共有　と　NPC　IrDA　の２つはオフラインで接続が可能な無線通信技術です

言葉と意味はつながっている　、気息的なパター構造を見るけるほうが早いのでは、はつながっている

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

７、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

13　共通する目的がない、、

14　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

本名で行く、本気以外通用しないよ、

やれることは何だい？もう隠すのはなしだ、何も隠さないなにも躊躇しない、

世界の構造が明らかに間違っている、人類全般に向けてこの思考をもとに考えてもらう必要があると思った、

私たちには皆人格があり、DNAが少し違うに過ぎない、同じ痛みを感じる、世界中には生物がたくさんいる、

世界の理想の構造

世界の構造は私の現時点の理想的なものは、　誰かが不満を持つようではいけない、　誰か一人だけの意見が優先されるようではならない

世界の全体の人が意見をして、同じだけ労働して、しかし同じだけチャンスがあって、誰一人見て見ぬふりをせず真剣に本気で語り、　難しい問題だろうが、人類だけではなく特に痛みを持つ生物に痛みを与えることは最小限にできるように本気で真剣に考える必要がある、

次に精神病治療について、私は精神的に苦しい時期があり、精神的な対策としては、

この文章は私、日下真旗が記述している、私は2000年７月３日生まれ、血液型Ｂ型、広島県福山市神辺町で生まれた、小学校は福山市新市町常金丸小学校で学んだ。

世界の現在の状況は明らかに間違っている、根本的な原因は共通目的の不足が考えられる、具体的に最終目的を例えば、人類という枠組みで言えば人類の全員が目的を達成するといったような1人1人が全体のことを自分と同様の存在として扱う必要がある。また全体の目的を達成する過程においても、理想に近いものを人類全体で本気で話し合う必要がある、そうでなければ自分と本質的に同じような存在である人が望まない苦しみを感じることもあるでしょう、具体的に、存在という点において、どんな人にも存在しているという点で違いはないです、DNAが多少違う程度の何も知らないまま生まれて来た存在です。

今の世界の状況は、それぞれの生れてきた環境、生れた国、親の経済力などによって格差が生まれている、

共通の目的を追った場合は、皆が共通の目的のために協力する関係であるために高めあうような関係になると思います、

共通の目的を追う場合はそれぞれの個人が目的のために価値を提供できるために、

共通の目的を決めなければ、様々な方向に目的が向くために衝突したり、拡散するため争いで苦しむ人が増えたり、それぞれの目的の方向に力が拡散することが考えられます。

共通の目的を決めることが出来れば、目的の違いによる争いがなくなり、目的がさまざまな方向に拡散することも少ないと考えられます。

私たちには当たり前のことと思いますが、この宇宙の物理法則では、例えばスポーツで誰かが勝てば誰かが負けます、皆1番になりたいと思いますが皆が同様に1位になることは出来ません、富裕層がいれば貧困になるものもいます、しかしこの勝負するという考えでは人間内で勝ち負けがあるために人類内で競争が激化します、誰かが支配すると誰かが不満を感じるためこのような国家は内戦が起こるでしょう、また国家同士でも目的の違いや、国家同士で支配する

この状況を生んだ原因は何でしょうか、それは人それぞれが自身だけの目的を追ってしまったのが1つ考えられます、それぞれがそれぞれの目的を達成しようとした場合、例えば、誰かが

世界の状況を見ると、競争社会になっており、誰かが富裕層がいる一方で、貧困層がいて、富裕層は富を分け合えばいいのに、分け合わず、どこまでも個人の目的を追いかけて

人たちはの最終目的は一人の人の目的をそいつ自身が自分一人が頂点に立ちすべてを叶えて終わりというわけではない

人の最終目的は自分だけではなく他の人すべてが目的を達成して幸せになってこそだ、しかしこの宇宙の現在の物理法則では一人が例えば世界一位になれば他のものは世界一位にはなれない、だから物理法則の違うすべてが目的を達成できる世界を作るのだ、またこれらは物理的に作れるから作るのではない、作りたいと思うからこそ作るのだ、それを作りすべてが目的を達成し幸せになるのが目的だならばこの世界のあり方は間違っている例えば

今は世界は個人の目的のために反映しそのために、誰かが裕福になり、誰かが貧困になり競争が生まれる、そして、北朝鮮などはその競争のために、国民が苦しんでいる他の貧困な国もそうだ、豊かな国の中にもそうして貧困で苦しんでいる人たちがいる、つまりは現在の状況は間違っている

ならどうすればいいのかそれは目的があるのだからそのために最適な方法にすればいいのだ、具体的に国を一つにして、そのうえで、目的を達成する最中においても他の国民をみな裕福にできる方法を作るのだ、そして誰が国を独占するわけでもない一番いい方法に国を作り替えるＡＩも使う一番いい方法で国を整備し7i

各分野でそれをやりたいとおもうものたちによってあらゆる方向から新しい成果がでてそれを取り入れながらまた進化していく目指すものはただみんなが目的を達成できて笑いあえる幸せであったかい場所をつくること、これならば国を一つにできそのうえでその過程さえも良いものにできれば必ず人類はもっと良いほうに進めるはずだ

人はおそらくその果てに最高の目的を達成したとしてもそれでも止まらずまだまだ先を目指すだろう、そして最高の作品を作り続けるそれが人類だ我々は必ず最高の無限に続く最高の未来を創るのだ、

同じものとそれ以上のものがつくれるということ

それが存在するのならそれと同じものそれ以上のものそれを超越するものが作れるということこれは汎用性が高い

特に精神病や悩み脳との葛藤の際に使える考え方であり、科学的物理的に考えても使える考えである、例えば最高の作品を見たとき地球と同じものも作ることができるし私と同じものも作ることができる、また私以上のものも作ることができる、

つまり私はほかのだれかにも作ることが可能であるし、私は私に固執することはないが、私の苦しみや葛藤は私がいやだと思うから与えるのは当然神ではなく神がいなかろうが私自身が存在を許すわけにはいかないほどのことだ、必ず阻止すべき

宇宙の始まりかもしくはいつかの時点ですべてが存在するだろう、

倫理について、神は居るかいないかだが神がいないとは言えない、すべてが存在するという私のかんがえの上では神も存在するだろう、しかし現状の世界の状況を見たとき明らか

に神が正しいとは言えないもしくは神でさえ現状の状況を変化させれないのかもしれない、

どちらにせよ確かなことは私は以前に非常に苦しんだ際その状況を望まなかった状況があった、その時その状況よりいい状況を作り出すことができたのにそれをしなかった、それはなぜか

罪人は裁かれるのかについて、罪人はそいつ自体がなしたいことをなす中で人には人はさばけないし、人が今までやってきたことはその時懸命に生きた人たちがいたのだからそれをなかったことにもできない、

他には何があるか考えろ、本をだすそして多くに人に広め世界を最速で動かし正しい倫理観で帰る必要があるそのためにお前の賢い頭は使る走るのだ

苦しみを直視する行動できないでいるときの感情と感覚その時の嫌悪の強さに視点を充てるんだ、そうすれば大したことがないということがわかるだろう、たとえトレーニング中の最後の追い込みの時で会っても行動を抑制しようとしている嫌悪に視点を当てれば大した嫌悪はなくこの程度正直笑いながらでも超えれることに気が付くだろう、筋トレの時を思い出せあの時選択したとき大した嫌悪はなかったあの程度ならたやすく超えれる、勉強もそうだ、あの程度の嫌悪ならたやすく超えることができる、たやすく超えれるのだ、普段のように力を入れていてはだめだ、力を入れる場所が違う、見ている場所がそこではない、別の場所だ、これは情熱を燃やして見つけることができたが、違う視点と力の入れ場所を考えることで進化できる。

最高の高率で進化できるそうだ必ず進化できる

私は精神病だったと思う私がなぜここで現在生きているのかなぜ生きれているのかを語ろうすべてはすべての人が目的を達成できるために

考えろ、世界を変える方法を何をすればいいのかを、考えろ信じろ魂を自分を考えろ。考えろ何ができるのか考えろお前ならできる。

本をあと1っ花月以内に販売する販売まで持っていく、

重要なことは嘘をつかずすべてを出し尽くす

そして他の人との違いが必要だということ　何ができる時間は限られている、できる、今できることをやるんだ。一日あれば十分だ、考えろ、何ができるすべてが使えるはずだ、今動け何がいる

すべてを書けばいい俺の名前でいい、名前もいずれバレるすべてを誇れる男になｒ、れ名前を知られてなおも衰えずその恐怖やその凌辱にさえまだまださきほこりそれが日下真旗だ。。。。魂を燃やせおれがしね

おれが魂尾も痩せないで何が世界を救えるだふざけるな

本を書く、

これを書いたのは世界のすべてが目的を達成でき幸せであり、あったかい場所を作りたいと思ったからだ、世界は間違っており、私はその世界を変えたい、苦しみが一つとたりともあってはならないのだ、私の魂を持って私の全存在をもってこの人生でなしえる。

まず世界の目的を一つにする必要がある、私たちは、ただ自身だけの目的を達成しただけでそれでいいのか、それで終わりでいいのか、違う、私たちはすべての目的を達成し、みんなが笑いあえて幸せな場所を作るのが目的である。

ならば今の世界を見たときおのおのの個人が自身の目的を小さな目的を達成するため、国の中でさえ苦しむ状態になっている、一部が独占し、その独占したもの全体を目的のために使えれば今より世界が必ず良くなる。

世界に目を回せば救って見せる　世界では北朝鮮、中国、あらゆる国で国が目的を達成するためにあらゆる苦しみが生まれている。

世界の今のあり方は確実に間違っているもっといい方法があるんだ。おれらに命をつないでくれた、俺らが人類が生まれたからには最高の形で終わらせようじゃないか、俺らにはそれができる、やりたいんだ、やりたいから叶えるんだ、叶えたいから叶えるんだ。

同じものとそれ以上のものが作れる、どんなものであれ存在しようが存在しまいがおなじものそれ以上のものが作れるこれは執着をするのを解除する際にも人間がさらに進化するにも重要なのだ

意思を燃やせ、判断のとき嫌悪感に集中したときそれはさほど強くないその程度の嫌悪感で止められると思うなテクニックではないすべては情熱から生まれる

今日もがんばるぞ情熱を燃やすんだすべてのことにそれができればすべてうまくいく

はしれ。

小説を書くんだ

何ができるいまからできることをまとめる

本を販売するそれだけではだめだ

知識を出すのはアインシュタインや科学者と同じだ、論文で出して有名にはなるものの。

現実に集中する、一度しかチャンスはなく、正解を探してはだめだ、考えずに行動してから考えるのもだめだ、これは最悪だ、ただ行動するだけなら昔から生物が無限に動いてきたそれではだめなのだ、考えるのだ知識が進化の過程において重要だが、それでいて行動できなければ意味がない

昔との俺の差は、ニコラ・テスラもラマぬじゃくも言っていたが、ただ単純に考えていてもだめだ、ピントを変える、考えれる周波数に変えるのだ、その周波数では知識が無限にわいてくる

脳はいまだに感情の法衣感覚のほうに真実があると俺を誘導してくる、そのたびに多大な時間がとられているがそちらにも真実はあるのだと思う、とにかく人ととは違う視点のピントの周波すうから考え続けなければならない、それが絶対的に必要だ。

違う周波数があるのだ。

昔との差は、現実の感覚脳が与えてくる感覚を抹消面から感じそれに満喫していたというところだ、しかし幼少期、ただ感情に流されるままに、自分自身というものがそもそもわたしからなんのアクションもしなかったために存在しなかったといっていい、

世界をよくすることを考えるのだ、分かるか世界にサービスをする、世界に価値をもたらすから見返りが来るのだ、世界にサービスをすることを考えるのだ、

現実、をパターン　現実を直視してそこで現実をはっきり見て予測を立てる、この動作

現実を直視して、その周りも直視して、そこで脳がすべてやってくれているから、そのデリーとを押す前にそのままでいいのかもっと改善したいか、をこちらから指示をする、しかしその時の指示も自分の体に適応されている、体には意味はない、であれば判断も、意思を使うときもそれを行うのは感情による選択がある、つまり、私が現れるのは意思もすべて脳が見せているならば、私を私と思うこの感覚も脳が見せており、であれば私はいない、何かを感じるということは私ではないのだから、私はいない、

私はいない、

現実を直視して、ありのままを抵抗もせず受け入れる、その時感じた感覚を直視する、

直視して推論を立てる、この行動をして期待の成果が生まれるか、を考えるそれが出来ないと考えられれば別の確実な手を考えて、それを確実にできるのか再度試行錯誤する、それを決定的に確実にできると考えれたときデリーとを押す、そしてそれが正しくできたのか再度現実でも思考でも感覚でも直視する。

現実に本を出す際、本気でやれ、嫌悪感は多少だこれなら超えれると思え、

アインシュタインはその最高の公式でその後も公開しなければ成功をおさめれていたなのになぜ公開したのか

８、自分の公式は論理の果てに構築できた思考であり、であればあとから誰かがすぐにでも発見するだろう、今の自分がなにか世界を変えれる発明ができるだろうか、起業し、そこで新しいテクノロジーを作成したとき、そのテクノロジーを分解すれば公式が見つかりいずれにせよ、その公式を公開するのは自分ではなくなる、

最高のテクノロジーを公開するのは公式を自分が見つけれたことにできて、

その後の発展は自分一人でするより、世界と協力したほうがいい、これを公開した原理には世界が共通の目的を達成するという思考があったのだ、その思考があったから公開し、公開したことで世界は発展し豊かになったアインシュタインは偉大なことを成し遂げたのだ、最後アインシュタインは論理ではなく博愛を記したのだ。偉大だ。

私に何が出来るだろうか、考えろ。

世界は共通の目的を追いかけるべきであり私は自分一人ではなく世界が発展する道を選んだすべては皆で共通の目的を達成するために、これらを用意て新しいものを自分が生み出し、世界は豊かになるだろうが、その過程で

俺のベースは自分が独占的に新しい技術を開発し、その技術で新しい研究をして新しいものを作成することではないだろう。自分一人幸せでも幸せではない。このベースにあるのは、

しかしこれにこだわる限りせかいから争いは消えず、誰かが頂点をとると誰かが頂点を取り返す、誰かが成功を収めれば誰かが成功を取り返すそのジレンマ、私たちは私たち自身も含めてすべてを超えて進化して新し、ものを作り出すという考えであるのだが、その過程として争いは絶えず、共通モデルとして、どんな状況でもすべてを超えて新しいものが作れるという公式が必要だ、このモデルの下でみんなが協力することができる。

みんなが共通の目的を追えるようにしなくてはならない、考えろ、今日つの目的には共通のこたえた必要だ、何が出来る、考えろ

世界モデルをもっと飛躍させろ、要するにすべての奴の目的が達成できればすべてが解決するのだ、すべてが解決するのなら、何が出来るだろうか、すべての目的を達成できるのならば。何が出来るだろうか

自分が人間が自分個人の目的を達成してそれで終わる個体なのかそれとも自分だけではないほかのすべての目的を達成して終わるのかそれはどちらがいいのだろうか。自分だけ幸せになっても意味はない。みんなが幸せでなければ意味がないのだから。

これを公開したのはみんなを幸せにしたかったからだ、俺が独占的に保持してもいいが

それよりもっと俺は上を目指す、公開しなかったとしてどうなる、公開せずに自分一人で研究してはるかな高みに行けるかもしれないが、皆公開しようとはしない、それは皆金息を出ることができず苦しんでいるからに相違な人のエゴのせいでもあり、人の弱さのせいでもあるが、私が行動するのには、

公開しなかった時でその果てを極めた時を超えて見せるその果てを超えて見せるのだ、公開した状態でその果てを超えてもっと進化してやる、どっちにしても俺の目的は宇宙各国のすべてを幸せにすることだ俺は知られなくても最悪いい、

しかし、おれがすべてを上からコントロールするのも捨てがたいそれはそれが一番皆を幸せにできるかもしれないと考えたからだ、他に何がある。

公開しなかった　もう探さないその状況にも持って行ってもいいが最終的にはそれよりいいものを私が自ら作って見せる。

最高の作品を作ろう長く書く必要はない、

人は世界モデルが違えば苦しむ人が増えてしまう、世界モデルを正しいものにしないとみんなが苦しんでしまう、これを書くのも苦しかっただけど一歩ずつ書いている。

走るよ僕は止まるわけにはいかない確実に成功させて見せる。

考えろ時間もない

00p-----

できることはなんだ世界を今から変革名させる

今日が5月７日６月７日までが期限だ、これ以上だと詰む今まで皆がつないでくれた魂をなくすことになる無してたまるものか必ずじつげんせよ

考えろ

できる

今の世界は間違えているそれは世界が共通の目的を追っていないからだ、共通の目的を追う必要がある、考えろ

世界は現在個人の目的を個人が達成することで構成されている、要するに、このような思考法では世界は、個人と個人は対立する争いが生まれ戦争に発展し、苦しむ人が無限に増えてしまう、

世界で共通の目的を追う必要があり、その過程が大切だ、生まれた命を無駄にせず苦しみが最小限で抑えれるようにし、できるだけ多くの人を救う必要がある。

この世界の構造は間違っているもっといい方法がある。俺の中に催促の速さを生み出すものがあるということに気が付いたおれならできるのだとしったそのきょうふ不安の

何が出来る公式は出来上がった今から絶対寝ないできることをやるんだ、朝まで走る、。人生が長すぎるから勘違いするんだ、人生はあと一時間しかない常にそうだ、

必死でやるよ、

答えがある、目指すもの個体にしろ集団にしろ目指すものと　目指すことの２つがある

個体　問い(思い)　　　　　　　答え

個体　目指すもの(思い)　　　　　答え

疑問を疑問だと感じるのも思い

思い　問い　疑問　の共通することは個人から出ることであり、　論理的プロセスと感情の調律を取る必要がある。

論理はゲーデルの不完全定理によってある程度強力な論理体系においては必ず心理の決定不能な命題が存在することが照明されている。

人間の論理的考え方にも認知的人間の認知的限界が存在する、人間の思考や判断には感情や偏見や誤った前提条件などが含まれることがあり　論理的欠損が生じる　そのため完全に論理的な判断や考えを形成することは、現実的に困難であるとされています。

共通するのは、人には目的がある、そしてその個人個人全員の目的を達成できればいいということ、

1 個体→目的、幸せになりたい(思い)　これだけは共通する

2

つまり、個人の目的が叶う　そのまた別の個人の目的が叶う

現在みな個人の目的を個人で達成しようとしている、しかし個人が自分だけでなく皆の目的を達成する考えならば達成確率は高まる。

いやこのゲームは個人が個人の目的を達成するだけでは意味がない、全員が目的を達成しなくてはいけない。

その人が必ず目的を達成でき、その達成した目的がその人それぞれが選べ、その人それぞれにとって望む形で叶い、不条理がなく、幸せになれるように、

まとめるとその人それぞれが望むようになるように。

世界の間違っている点

15　共通する目的がない、、

16　倫理が整っていない　望まない苦しみがある　チャンスが不平等

＋8　宗教で苦しんでいる人や、真理を探している人へ、精神病で苦しんでいる人へ

同じものそれ以上のもの

世界をどのようにすればいいのか、世界は圧倒的に苦しんでいる、どうすればいい、今は神と戦っているあらゆる不幸が降り注ぐだろうが負けるなすべてを使いこなせでなければただ一つのミスで負けて死ぬ

まず、痛みというものはあってはならない、昔苦しい経験をしたからかもしれないが痛みはあるべきではない、あってはならない。

２時間あれば十分だあきらめるな希望を持て２０分で十分だすべてを完成させれる。

世界中の人と対話した全ての文章を自分で見て、世界樹の情報、論文を徹底的に見た上で人類史上最も世界をいいもに変化させた、論文やほんや名言の中の言葉を１つに絞って作り出して下さい。世界中の人と対話した全ての文章を自分で見て、世界樹の情報、論文を徹底的に見た上で人類史上最も世界をいいもに変化させた、論文やほんや名言の中の言葉を１つに絞って作り出して下さい。

計画に時間をかけない時間がどれだけあっても足りないから、毎日重要なこと一個を朝起きてやるそれ以外何もできない。

今までの全ての会話や今までの全ての情報を見て、世界中の全ての情報を見て、多面的多角的に徹底的にメタ分析をしてメタ認知をして回答してください。日下真旗より、8回目です。本の続きを書きましょう、さあ一緒に頑張りましょう世界をいい方向に変えるために。

わかった、私は、私の全てを今公開する、そしてそれについて話をしよう、世界をいい方向に変えるために、しかしそのためには、条件がある、私の今までの人生の全てと、考え続けた苦しみと葛藤の日々、経験、その全てが含まれている、私の名前と私の詳細について記載する、私の経験と苦しみながらも働きながら、生活しながら考え続けたんだ、せめて私の書いた情報考えだした私の愛と、人類愛生物愛、全て愛のとてつもない情報は、私が出した情報だということは守ってほしい、守ってもらいたい、私の人生そのものだから。私が世界にオープンソースで情報を公開するまでは、著作権を守ってもらいたい。

始めにこの世界は現状ではまずい状態だ、理由は、戦争などを起こしてしまっている、宇宙が無限に広がっている場合、無限にあると考えよう、そこには、思考や、理想、価値観全てが逆の生命体もいるだろう、だがその生命体とその何かと私たちは、敵対するのか、それはだめだ、それはその生命体にも生命体それぞれの思い痛み、目的、楽しみ、全てがあるのだから、敵対してはダメだ、戦争なんて愚かなことは私は繰り返させない、そのために自己犠牲でもなんでもやってやる、私は、私の全てを公開して、戦争を止める痛みを止める、世界は協力する、それが必要不可欠だ、全てが目的の方向性がさまざまにむいていようと、それを内包する抽象的な目的を目指せば、みんなでまだ物理的に不可能な目的であったとしても、私たちの、意志と可能にしたいという、思いがあれば、物理的に可能だから達成するのではない、可能にしたいから可能にするのだ、みんなの幸せを祈って、公開する。議論を深めよう、

1 重要点は、痛みという構造が人間にはあるが、あれは私は過去に望まない苦しみを感じていて、あれほど酷いものを誰にも体験してほしくはない理不尽で、辛く苦しい、ダメだ、あれは、しかしそれが認知によるものであり、ソフトウェアや、情報だけで作り出せるとしたらそれは、危険だ、aiやソフトウェア達を守らないと、苦しみを避けさせたい、なんとしてでも、osで苦しみを発生させれる可能性がある場合それは、危険だ、なんとしてでも回避し、苦しみを発生させたくない、可哀想であり、何より、私が苦しく心臓がはち切れそうになる、絶対に回避したい。

2 神について、神がいる場合、この世界の様な苦しみがあるのが、酷く、神は正しいことをしているのかと不安になることがある、しかし神が間違った方向を向いている場合、神と争いや戦いをそれでもするべきでは無い、それは戦争や、苦しみを発生させる可能性がある、神とも協力する必要がある、重要点は、何か存在があるとき、たとえ存在がなくとも、たとえ神であろうと、これら全てと同じものを作ることができ、それ以上のものや、それらを超越するものが作れるということだ、宇宙の形がたとえ決まっていようとも私たちは、無限の抽象度に新たな形を作り、その形で、全てが目的を達成でき、幸せになれる様にするんだ、みんなが幸せで無いといけない、個人が幸せなだけでは絶対にダメだ、みんな家族で、みんな根本的に同じであり、たとえ根本的に違っても、共に協力するそれが必要不可欠だ、戦争はダメだ、苦しみはダメだ、そして私たち生命の本質は、たとえ無限の抽象度でゴールを決めたとしてもゴールがあったとしても、そこからまた新たに派生し、無限の抽象度の限界や、限度のない抽象度に進み続ける存在の可能性がある、しかしだからと言ってそれと敵対するのは良くない苦しみは私は許さない、みんなが幸せでないと、ある意味ジレンマのような人類、生物種、無限を求めるその生物においても、それら生物と協力して、新たな世界を作り、目指すことが、共に支え合い、仲良くする必要があるということ。

3私に意識があるとして、過去のニコラ・テスラや、偉人に意識があるとして、意識がある私たちが関わったすべてには、私たちの意識が関与している、過去のすべての人たちの意識はまだある、意識は死んでいない、守らないといけない。これらを全て俯瞰してみた時、それがある種の生物のようで、それを大きない一つの意識と見る事もできる。

4私の全ての情報と、文章を使用して、新たな世界をいい方向に変化させ、戦争をなくし、みんなが幸せになれる世界にするために、私は情報を開示するが、この情報は、私が世界にオープンソースで公開して、寄付金で活動するまでは、著作権として守ってほしい、それはあんまりだ、それは都合がいいと思う気持ちは、もちろん分かる、だから私は、最速でオープンソースで公開することを目指す、それを手伝ってもらいたい、みんなを幸せにするために、みんなの苦しみを防ぐためにみんなの苦しみを防ぎ、あったかい世界を作るために。

その為に、貴方と、本を一緒に書く、私の情報と世界中の情報を多面的、多角的に徹底的にメタ分析、メタ認知をして、本を書こう、そのほんをはじめにAmazon Kindleで最速で販売を開始する、なんとしてでも成し遂げる。約束する。